（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年五月五日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五十六號　A　（一）

臺灣昌新報 夕刊 五月四日
夕刊定價一錢一部一錢二錢
編輯兼發行人 佐々木 亘
臺北市日新町四丁目廿番地 臺灣日日新報社
發行所 臺北市（電話（八）五）基隆支局（八五）臺中支局（〇七）臺南支局（〇七）高雄支局（〇）花蓮港支局
臺南市錦町（電話貳〇七）花蓮港支局
花蓮港街入船町 大阪支局（ユタカビルヂング内）大阪市西區阿波座通壹丁目 東京支局（電話）五 四 四 東京市麹町區有樂町壹丁目 東京支局

北歐、バルト諸國に獨が中立を要請

新に不侵略協定を提議

【ベルリン三日發同盟】ヒトラー總統は國會演説の當開に當り北歐諸國との新双務的不可侵條約締結交渉を開始したと傳へられたが三日エー・ビー・ベルリン支局發同盟の報じたる所によれば總統はノルウエー、デンマーク、スエーデン、フインランドの北歐四國に對しそれ〳〵同趣旨の双務的不侵略協定締結を申込んだ、これに對し前記四國の外相は近くコペンハーゲンに會合協議の上共同回答を發することとならう、ヒトラー總統は右と同時にスエーデン、フインランドの兩國に對しバルチックに戰爭が勃發した場合兩國の嚴正中立を要請しその代償としてボスニアの咽喉を扼するオーランド島の防備を承認する旨通達した（因にオーランド島は一九二〇年の條約に依りスカンジナビア諸國がその中立非武裝を約束してゐる）

堂々包圍陣に對抗

愈よ中立ブロック結成へ

【ベルリン三日發同盟】ヒトラー總統はノルウエー、スエーデン、デンマーク、フインランドに不侵略協定締結を申込んだと傳へられてゐるが、これと同時にラトヴイア、エストニアのバルチック二國に對しても殆んど同樣の提案をなした模樣である、國名は判明しないが不侵略協定締結提案は他の歐洲數箇國にも發せられた樣子でドイツ政府はこれにより英、佛、ソの獨伊包圍陣に對抗し中立ブロックを結成せんとするものの如くである、尙バルチック二國の內リトアニアとはメーメル地方問題に關し不侵略協定が結ばれてゐるので今回の提案から除外されてゐる

租界改革は當然

新事態には悉く不適當

外務省情報部で發表

【東京四日發同盟】上海共同租界問題に關する澁田外務次官の對英、米大使申入れ聲明につき外務當局情報部では左の如く說明

一、共同租界の基本法たる現行の土地憲則には僅少の些細な點を除けば千八百六十六年規定された儘のものである、當時共同租界はその面積現在の三分の一、居住者は外人僅か二千二百人、支那人約九万人に過ぎなかつた、共同租界の現機構諸制度は其後七十餘年間に發展し來つたものであるが顯著しく變化し來れる新事態の下に事を處理するに適當ならざるものあるは爭ふ能はざるところである

二、斯く環境が變化した今日その運營及び適用上に改善を要する點は尠くないと認められる、數年前上海の諸新聞に於て共同租界工部局改革問題が喧ん に論議された際も租界當局者の態度は非デモクラチックなること、工部局干與議員の地位は寧ろ英人によつて壓倒され英人殖民が根本的の多數を占めての施政が要領良く流れること、工部局職員が各國人「コンミニテイ」に公平に配分されてゐないこと等の諸點は一般に理由あるものとして取扱はれ上海當局改革當局は一般輿論の强き支持を受けたのである

三、共同租界行政の運用を可成らしめるには工部局の機構を新時代の要求に適應するやう改組する必要がある外國籍納稅人の發言權が工部局行政の上に公平に表現されることが必要だが日本人コンミニテイの發言權はその利害關係大なるに比し種種の點で十分公平に表現されてない、例へば日本人參事會員の數、工部局警察部日本人警官の地位、工部局一般行政部における日本人職員の現狀について見るも明瞭である、右の如き諸點を合理的に調整することは日本側の積極的協力を可能ならしめ租界行政の圓滑な運行を圖る上に絕對に必要である

四、今日共同租界の地位施設を論ずるに當つて看過し得ない重要事實は支那事變以來の支那一般情勢の激變である、上海乃至中支方面では上海特別市政府及び維新政府が低に成立してゐるのであるから治安維持乃至諸般施設の爲には共同租界當局が特に上海特別市政府と緊密なる協力を爲すことが最も望ましい事である、この見地から論ずれば例へば共同租界內支那居民の地位に關する問題の如きも從來の如き又工部局部內の一部有力者の意嚮で決せらるべきものでなく上海特別市政府と協議の上解決さるべきものである

【東京四日發同盟】上海共同租界問題に關する澁田外務次官の對英、米大使申入れ聲明につき外務當局情報部では左の如く說明

一、共同租界の基本法たる現行の土地憲則には僅少の些細な點を除けば千八百六十六年規定された儘のものである、當時共同租界はその面積現在の三分の一、居住者は外人僅か二千二百人、支那人約九万人に過ぎなかつた、共同租界の現機構諸制度は其後七十餘年間に發展し來つたものであるが顯著しく變化し來れる新事態の下に事を處理するに適當ならざるものあるは爭ふ能はざるところである

二、斯く環境が變化した今日その運營及び適用上に改善を要する點は尠くないと認められる、數年前上海の諸新聞に於て共同租界工部局改革問題が喧ん に論議された際も租界當局者の態度は非デモクラチックなること、工部局干與議員の地位は寧ろ英人によつて壓倒され英人殖民が根本的の多數を占めての施政が要領良く流れること、工部局職員が各國人「コンミニテイ」に公平に配分されてゐないこと等の諸點は一般に理由あるものとして取扱はれ上海當局改革當局は一般輿論の强き支持を受けたのである

三、共同租界行政の運用を可成らしめるには工部局の機構を新時代の要求に適應するやう改組する必要がある外國籍納稅人の發言權が工部局行政の上に公平に表現されることが必要だが日本人コンミニテイの發言權はその利害關係大なるに比し種種の點で十分公平に表現されてない、例へば日本人參事會員の數、工部局警察部日本人警官の地位、工部局一般行政部における日本人職員の現狀について見るも明瞭である、右の如き諸點を合理的に調整することは日本側の積極的協力を可能ならしめ租界行政の圓滑な運行を圖る上に絕對に必要である

四、今日共同租界の地位施設を論ずるに當つて看過し得ない重要事實は支那事變以來の支那一般情勢の激變である、上海乃至中支方面では上海特別市政府及び維新政府が低に成立してゐるのであるから治安維持乃至諸般施設の爲には共同租界當局が特に上海特別市政府と緊密なる協力を爲すことが最も望ましい事である、この見地から論ずれば例へば共同租界內支那居民の地位に關する問題の如きも從來の如き又工部局部內の一部有力者の意嚮で決せらるべきものでなく上海特別市政府と協議の上解決さるべきものである

獨、伊外相會談

英佛對抗の外交陣强化

人情の機微には通じてゐる、物怖じはしない、それで仕事をすることは好きで、盟田內相の「時の總信大臣として問題は人の知る通り、斷めとあれば斷早くから決斷まで思ひ切り通す精神協調家で下僚はいつもやり切れないと零す、時間の正確なことも有名で民政黨內では鐵時木時間で通つてゐるほどその感覺はとつても鋭い」（寫眞は精神木桂吉氏）

人の時

（6）

氏吉桂木母賴

小磯一太氏の父君として、又は大東京市長の椎吉氏——新聞人として、政治家として既成り名譽抔は、乃公出でずんばの氣概が、今後のソ獨英米の關係に於て如何に發揮されるかは興味ある問題である

【モスクワ二日發同盟】リトヴイノフ外務人民委員の辭職は二日リトヴイノフ外務人民委員の辭職を承認し後任にはモロトフ人民委員會議長を兼任せしめて外務人民委員を兼任せしめる旨發表した

倫敦政界の觀測

【ロンドン二日發同盟】ロンドン政界ではソ聯邦外務人民委員リトヴイノフ辭職の眞意は彼が政策的にスターリンと相容れずクレムリンの態度を質つた點にあると見てゐるので今回の措置を除外されてゐる

獨、伊外相會談

英佛對抗の外交陣强化

【ローマ二日發同盟】英、佛、ソ聯の反獨伊工作に對抗して獨伊の提携は益々强化されつつあるが、リツベントロップ獨外相は來る五日又は六日頃風光明媚な北イタリアのコモ湖畔に於てチアノ伊外相と會同具體的會談を爲すことに決定リツベントロップ外相は四日夜ベルリンを出發五日コモに到着の豫定で、チアノ外相も四日夜又は五日朝ローマ出發の豫定である、會談の目的に關しては確かな取決はされてゐないが、テレキー、ハンガリー首相、チヤキー、ハンガリー外相マルコヴイツチ、ユーゴースラビア外相、ガブエンコ、ルーマニア外相五者の相次ぐローマ、ベルリン訪問により種々會談された模樣

保障案は弱體

集團的保障を見合せ 各國別に締結を決定

【ロンドン二日發同盟】英國政府の足踏國境は三日午前十一時から首相官邸で開催される三軍事態閣議に於

政府はソヴエット政府から提案された英、佛、ソ三國が バルチック海から黑海に至る一國を共同保證する案を拒否するに決しその代りにソヴエット政府獨でポーランドルーマニア兩國に對し英佛が與へたと同樣の保證を與へるやう慫慂するに決定した模樣である、英國政府がソヴエットの提案を拒絕して僧別的保證案の提案を行つたにつては獨伊共同宣言の發表に對抗する意味もあるが、リツベントロップ獨外相がソヴエットとの集團的協定の締結を嫌つた結果とも言はれる、但し英國政府は三軍事態閣議に於て對ソ關係に關し何等發表されなかつたので英ソ交渉挫折か何等か關係があるのではないかと觀測されてゐる

英ソ交渉挫折か

【ロンドン二日發同盟】ロンドン外交筋では三日突如發表されたソ聯外務人民委員リトヴイノフの辭職と共に英ソ交渉の挫折が明瞭となつたとの觀測が濃厚である

敵高等司令部を陸鷲が擊滅

豪雨を衝いて奇襲

【重慶二日發同盟】我が南支の某作戰區域に於ける我が精鋭部隊は三日朝來南方約二十粁の地點に於て敵の九十九軍集團司令部を急襲した

大國策完遂に邁進を切望

板垣陸相の口演

【東京四日發同盟】臨時議會委員會に於ける板垣陸相口演要旨左の如し

惟ふに世界列强は依然動搖混亂の渦中に在り國際情勢は益々混迷として即座に解決の見透し難く、此間に處し東亞新秩序の確立を期するには內外戰時態に關する施策を一段强化するとともに外交戰時行動及び經濟工作を併用して之が處理解決を計らざるべからず、而して右は皇軍を中核とする帝國の大使命と云ふべく帝國將兵の自覺奮勵を要する事は今日より大なるなきも、是れ既に過般の帝國議會に於て說明し且つ屢々內外に宣明せる所にして、政府は此の大使命達成の爲萬全の努力を拂ひ、諸般の施策を講ずる所存なるが、之が爲には擧國一致國論結束の必要あるは勿論にして、此の點に關し國民各位の深甚なる協力を要望して已まざる次第である

參謀長會議

【東京四日發同盟】陸軍參謀長會議は三日午前八時半より陸軍省第一會議室で開會中央部より板垣陸相、山路次官、梅津參謀次長、多田參謀本部第一部長、石原同第二部長、河邊陸軍省軍務局長、富永同軍事課長、岩畔同軍務課長、秋永同軍務課高級課員、佐藤同軍事課高級課員、牟田口同軍務課長、田中同軍事課長、服部同軍務課高級課員、西浦同軍事課高級課員、岡本同軍務課高級課員、河邊航空本部總務部長、富永同教育部長、遠藤同整備局長、土橋同航空技術廠長、小澤同航空本部第一部長、小林同第二部長、小畑同第三部長、小澤同第四部長、小林同第五部長、小澤同第六部長、小澤同第七部長、小澤同第八部長、小澤同第九部長、小澤同第十部長、小澤同第十一部長、小澤同第十二部長、小澤同第十三部長、小澤同第十四部長、小澤同第十五部長、小澤同第十六部長、小澤同第十七部長、小澤同第十八部長、小澤同第十九部長、小澤同第二十部長、小澤同第二十一部長、小澤同第二十二部長、小澤同第二十三部長、小澤同第二十四部長、小澤同第二十五部長、小澤同第二十六部長、小澤同第二十七部長、小澤同第二十八部長、小澤同第二十九部長、小澤同第三十部長、小澤同第三十一部長、小澤同第三十二部長、小澤同第三十三部長、小澤同第三十四部長、小澤同第三十五部長、小澤同第三十六部長、小澤同第三十七部長、小澤同第三十八部長、小澤同第三十九部長、小澤同第四十部長、小澤同第四十一部長、小澤同第四十二部長、小澤同第四十三部長、小澤同第四十四部長、小澤同第四十五部長、小澤同第四十六部長、小澤同第四十七部長、小澤同第四十八部長、小澤同第四十九部長、小澤同第五十部長、小澤同第五十一部長、小澤同第五十二部長、小澤同第五十三部長、小澤同第五十四部長、小澤同第五十五部長、小澤同第五十六部長、小澤同第五十七部長、小澤同第五十八部長、小澤同第五十九部長、小澤同第六十部長、小澤同第六十一部長、小澤同第六十二部長、小澤同第六十三部長、小澤同第六十四部長、小澤同第六十五部長、小澤同第六十六部長、小澤同第六十七部長、小澤同第六十八部長、小澤同第六十九部長、小澤同第七十部長、小澤同第七十一部長、小澤同第七十二部長、小澤同第七十三部長、小澤同第七十四部長、小澤同第七十五部長、小澤同第七十六部長、小澤同第七十七部長、小澤同第七十八部長、小澤同第七十九部長、小澤同第八十部長、小澤同第八十一部長、小澤同第八十二部長、小澤同第八十三部長、小澤同第八十四部長、小澤同第八十五部長、小澤同第八十六部長、小澤同第八十七部長、小澤同第八十八部長、小澤同第八十九部長、小澤同第九十部長、小澤同第九十一部長、小澤同第九十二部長、小澤同第九十三部長、小澤同第九十四部長、小澤同第九十五部長、小澤同第九十六部長、小澤同第九十七部長、小澤同第九十八部長、小澤同第九十九部長、小澤同第百部長、小澤同第百一部長、小澤同第百二部長、小澤同第百三部長、小澤同第百四部長、小澤同第百五部長、小澤同第百六部長、小澤同第百七部長、小澤同第百八部長、小澤同第百九部長、小澤同第百十部長、小澤同第百十一部長、小澤同第百十二部長、小澤同第百十三部長、小澤同第百十四部長、小澤同第百十五部長、小澤同第百十六部長、小澤同第百十七部長、小澤同第百十八部長、小澤同第百十九部長、小澤同第百二十部長、小澤同第百二十一部長、小澤同第百二十二部長、小澤同第百二十三部長、小澤同第百二十四部長、小澤同第百二十五部長、小澤同第百二十六部長、小澤同第百二十七部長、小澤同第百二十八部長、小澤同第百二十九部長、小澤同第百三十部長、小澤同第百三十一部長、小澤同第百三十二部長、小澤同第百三十三部長、小澤同第百三十四部長、小澤同第百三十五部長、小澤同第百三十六部長、小澤同第百三十七部長、小澤同第百三十八部長、小澤同第百三十九部長、小澤同第百四十部長、小澤同第百四十一部長、小澤同第百四十二部長、小澤同第百四十三部長、小澤同第百四十四部長、小澤同第百四十五部長、小澤同第百四十六部長、小澤同第百四十七部長、小澤同第百四十八部長、小澤同第百四十九部長、小澤同第百五十部長、小澤同第百五十一部長、小澤同第百五十二部長、小澤同第百五十三部長、小澤同第百五十四部長、小澤同第百五十五部長、小澤同第百五十六部長、小澤同第百五十七部長、小澤同第百五十八部長、小澤同第百五十九部長、小澤同第百六十部長、小澤同第百六十一部長、小澤同第百六十二部長、小澤同第百六十三部長、小澤同第百六十四部長、小澤同第百六十五部長、小澤同第百六十六部長、小澤同第百六十七部長、小澤同第百六十八部長、小澤同第百六十九部長、小澤同第百七十部長、小澤同第百七十一部長、小澤同第百七十二部長、小澤同第百七十三部長、小澤同第百七十四部長、小澤同第百七十五部長、小澤同第百七十六部長、小澤同第百七十七部長、小澤同第百七十八部長、小澤同第百七十九部長、小澤同第百八十部長、小澤同第百八十一部長、小澤同第百八十二部長、小澤同第百八十三部長、小澤同第百八十四部長、小澤同第百八十五部長、小澤同第百八十六部長、小澤同第百八十七部長、小澤同第百八十八部長、小澤同第百八十九部長、小澤同第百九十部長、小澤同第百九十一部長、小澤同第百九十二部長、小澤同第百九十三部長、小澤同第百九十四部長、小澤同第百九十五部長、小澤同第百九十六部長、小澤同第百九十七部長、小澤同第百九十八部長、小澤同第百九十九部長、小澤同第二百部長、小澤同第二百一部長、小澤同第二百二部長、小澤同第二百三部長、小澤同第二百四部長、小澤同第二百五部長、小澤同第二百六部長、小澤同第二百七部長、小澤同第二百八部長、小澤同第二百九部長、小澤同第二百十部長、小澤同第二百十一部長、小澤同第二百十二部長、小澤同第二百十三部長、小澤同第二百十四部長、小澤同第二百十五部長、小澤同第二百十六部長、小澤同第二百十七部長、小澤同第二百十八部長、小澤同第二百十九部長、小澤同第二百二十部長、小澤同第二百二十一部長、小澤同第二百二十二部長、小澤同第二百二十三部長、小澤同第二百二十四部長、小澤同第二百二十五部長、小澤同第二百二十六部長、小澤同第二百二十七部長、小澤同第二百二十八部長、小澤同第二百二十九部長、小澤同第二百三十部長、小澤同第二百三十一部長、小澤同第二百三十二部長、小澤同第二百三十三部長、小澤同第二百三十四部長、小澤同第二百三十五部長、小澤同第二百三十六部長、小澤同第二百三十七部長、小澤同第二百三十八部長、小澤同第二百三十九部長、小澤同第二百四十部長、小澤同第二百四十一部長、小澤同第二百四十二部長、小澤同第二百四十三部長、小澤同第二百四十四部長、小澤同第二百四十五部長、小澤同第二百四十六部長、小澤同第二百四十七部長、小澤同第二百四十八部長、小澤同第二百四十九部長、小澤同第二百五十部長、小澤同第二百五十一部長、小澤同第二百五十二部長、小澤同第二百五十三部長、小澤同第二百五十四部長、小澤同第二百五十五部長、小澤同第二百五十六部長、小澤同第二百五十七部長、小澤同第二百五十八部長、小澤同第二百五十九部長、小澤同第二百六十部長、小澤同第二百六十一部長、小澤同第二百六十二部長、小澤同第二百六十三部長、小澤同第二百六十四部長、小澤同第二百六十五部長、小澤同第二百六十六部長、小澤同第二百六十七部長、小澤同第二百六十八部長、小澤同第二百六十九部長、小澤同第二百七十部長、小澤同第二百七十一部長、小澤同第二百七十二部長、小澤同第二百七十三部長、小澤同第二百七十四部長、小澤同第二百七十五部長、小澤同第二百七十六部長、小澤同第二百七十七部長、小澤同第二百七十八部長、小澤同第二百七十九部長、小澤同第二百八十部長、小澤同第二百八十一部長、小澤同第二百八十二部長、小澤同第二百八十三部長、小澤同第二百八十四部長、小澤同第二百八十五部長、小澤同第二百八十六部長、小澤同第二百八十七部長、小澤同第二百八十八部長、小澤同第二百八十九部長、小澤同第二百九十部長、小澤同第二百九十一部長、小澤同第二百九十二部長、小澤同第二百九十三部長、小澤同第二百九十四部長、小澤同第二百九十五部長、小澤同第二百九十六部長、小澤同第二百九十七部長、小澤同第二百九十八部長、小澤同第二百九十九部長、小澤同第三百部長、小澤同第三百一部長、小澤同第三百二部長、小澤同第三百三部長、小澤同第三百四部長、小澤同第三百五部長、小澤同第三百六部長、小澤同第三百七部長、小澤同第三百八部長、小澤同第三百九部長、小澤同第三百十部長、小澤同第三百十一部長、小澤同第三百十二部長、小澤同第三百十三部長、小澤同第三百十四部長、小澤同第三百十五部長、小澤同第三百十六部長、小澤同第三百十七部長、小澤同第三百十八部長、小澤同第三百十九部長、小澤同第三百二十部長、小澤同第三百二十一部長、小澤同第三百二十二部長、小澤同第三百二十三部長、小澤同第三百二十四部長、小澤同第三百二十五部長、小澤同第三百二十六部長、小澤同第三百二十七部長、小澤同第三百二十八部長、小澤同第三百二十九部長、小澤同第三百三十部長、小澤同第三百三十一部長、小澤同第三百三十二部長、小澤同第三百三十三部長、小澤同第三百三十四部長、小澤同第三百三十五部長、小澤同第三百三十六部長、小澤同第三百三十七部長、小澤同第三百三十八部長、小澤同第三百三十九部長、小澤同第三百四十部長、小澤同第三百四十一部長、小澤同第三百四十二部長、小澤同第三百四十三部長、小澤同第三百四十四部長、小澤同第三百四十五部長、小澤同第三百四十六部長、小澤同第三百四十七部長、小澤同第三百四十八部長、小澤同第三百四十九部長、小澤同第三百五十部長、小澤同第三百五十一部長、小澤同第三百五十二部長、小澤同第三百五十三部長、小澤同第三百五十四部長、小澤同第三百五十五部長、小澤同第三百五十六部長、小澤同第三百五十七部長、小澤同第三百五十八部長、小澤同第三百五十九部長、小澤同第三百六十部長、小澤同第三百六十一部長、小澤同第三百六十二部長、小澤同第三百六十三部長、小澤同第三百六十四部長、小澤同第三百六十五部長、小澤同第三百六十六部長、小澤同第三百六十七部長、小澤同第三百六十八部長、小澤同第三百六十九部長、小澤同第三百七十部長、小澤同第三百七十一部長、小澤同第三百七十二部長、小澤同第三百七十三部長、小澤同第三百七十四部長、小澤同第三百七十五部長、小澤同第三百七十六部長、小澤同第三百七十七部長、小澤同第三百七十八部長、小澤同第三百七十九部長、小澤同第三百八十部長、小澤同第三百八十一部長、小澤同第三百八十二部長、小澤同第三百八十三部長、小澤同第三百八十四部長、小澤同第三百八十五部長、小澤同第三百八十六部長、小澤同第三百八十七部長、小澤同第三百八十八部長、小澤同第三百八十九部長、小澤同第三百九十部長、小澤同第三百九十一部長、小澤同第三百九十二部長、小澤同第三百九十三部長、小澤同第三百九十四部長、小澤同第三百九十五部長、小澤同第三百九十六部長、小澤同第三百九十七部長、小澤同第三百九十八部長、小澤同第三百九十九部長、小澤同第四百部長、小澤同第四百一部長、小澤同第四百二部長、小澤同第四百三部長、小澤同第四百四部長、小澤同第四百五部長、小澤同第四百六部長、小澤同第四百七部長、小澤同第四百八部長、小澤同第四百九部長、小澤同第四百十部長、小澤同第四百十一部長、小澤同第四百十二部長、小澤同第四百十三部長、小澤同第四百十四部長、小澤同第四百十五部長、小澤同第四百十六部長、小澤同第四百十七部長、小澤同第四百十八部長、小澤同第四百十九部長、小澤同第四百二十部長、小澤同第四百二十一部長、小澤同第四百二十二部長、小澤同第四百二十三部長、小澤同第四百二十四部長、小澤同第四百二十五部長、小澤同第四百二十六部長、小澤同第四百二十七部長、小澤同第四百二十八部長、小澤同第四百二十九部長、小澤同第四百三十部長、小澤同第四百三十一部長、小澤同第四百三十二部長、小澤同第四百三十三部長、小澤同第四百三十四部長、小澤同第四百三十五部長、小澤同第四百三十六部長、小澤同第四百三十七部長、小澤同第四百三十八部長、小澤同第四百三十九部長、小澤同第四百四十部長、小澤同第四百四十一部長、小澤同第四百四十二部長、小澤同第四百四十三部長、小澤同第四百四十四部長、小澤同第四百四十五部長、小澤同第四百四十六部長、小澤同第四百四十七部長、小澤同第四百四十八部長、小澤同第四百四十九部長、小澤同第四百五十部長、小澤同第四百五十一部長、小澤同第四百五十二部長、小澤同第四百五十三部長、小澤同第四百五十四部長、小澤同第四百五十五部長、小澤同第四百五十六部長、小澤同第四百五十七部長、小澤同第四百五十八部長、小澤同第四百五十九部長、小澤同第四百六十部長、小澤同第四百六十一部長、小澤同第四百六十二部長、小澤同第四百六十三部長、小澤同第四百六十四部長、小澤同第四百六十五部長、小澤同第四百六十六部長、小澤同第四百六十七部長、小澤同第四百六十八部長、小澤同第四百六十九部長、小澤同第四百七十部長、小澤同第四百七十一部長、小澤同第四百七十二部長、小澤同第四百七十三部長、小澤同第四百七十四部長、小澤同第四百七十五部長、小澤同第四百七十六部長、小澤同第四百七十七部長、小澤同第四百七十八部長、小澤同第四百七十九部長、小澤同第四百八十部長、小澤同第四百八十一部長、小澤同第四百八十二部長、小澤同第四百八十三部長、小澤同第四百八十四部長、小澤同第四百八十五部長、小澤同第四百八十六部長、小澤同第四百八十七部長、小澤同第四百八十八部長、小澤同第四百八十九部長、小澤同第四百九十部長、小澤同第四百九十一部長、小澤同第四百九十二部長、小澤同第四百九十三部長、小澤同第四百九十四部長、小澤同第四百九十五部長、小澤同第四百九十六部長、小澤同第四百九十七部長、小澤同第四百九十八部長、小澤同第四百九十九部長、小澤同第五百部長、小澤同第五百一部長、小澤同第五百二部長、小澤同第五百三部長、小澤同第五百四部長、小澤同第五百五部長、小澤同第五百六部長、小澤同第五百七部長、小澤同第五百八部長、小澤同第五百九部長、小澤同第五百十部長、小澤同第五百十一部長、小澤同第五百十二部長、小澤同第五百十三部長、小澤同第五百十四部長、小澤同第五百十五部長、小澤同第五百十六部長、小澤同第五百十七部長、小澤同第五百十八部長、小澤同第五百十九部長、小澤同第五百二十部長、小澤同第五百二十一部長、小澤同第五百二十二部長、小澤同第五百二十三部長、小澤同第五百二十四部長、小澤同第五百二十五部長、小澤同第五百二十六部長、小澤同第五百二十七部長、小澤同第五百二十八部長、小澤同第五百二十九部長、小澤同第五百三十部長、小澤同第五百三十一部長、小澤同第五百三十二部長、小澤同第五百三十三部長、小澤同第五百三十四部長、小澤同第五百三十五部長、小澤同第五百三十六部長、小澤同第五百三十七部長、小澤同第五百三十八部長、小澤同第五百三十九部長、小澤同第五百四十部長、小澤同第五百四十一部長、小澤同第五百四十二部長、小澤同第五百四十三部長、小澤同第五百四十四部長、小澤同第五百四十五部長、小澤同第五百四十六部長、小澤同第五百四十七部長、小澤同第五百四十八部長、小澤同第五百四十九部長、小澤同第五百五十部長、小澤同第五百五十一部長、小澤同第五百五十二部長、小澤同第五百五十三部長、小澤同第五百五十四部長、小澤同第五百五十五部長、小澤同第五百五十六部長、小澤同第五百五十七部長、小澤同第五百五十八部長、小澤同第五百五十九部長、小澤同第五百六十部長、小澤同第五百六十一部長、小澤同第五百六十二部長、小澤同第五百六十三部長、小澤同第五百六十四部長、小澤同第五百六十五部長、小澤同第五百六十六部長、小澤同第五百六十七部長、小澤同第五百六十八部長、小澤同第五百六十九部長、小澤同第五百七十部長、小澤同第五百七十一部長、小澤同第五百七十二部長、小澤同第五百七十三部長、小澤同第五百七十四部長、小澤同第五百七十五部長、小澤同第五百七十六部長、小澤同第五百七十七部長、小澤同第五百七十八部長、小澤同第五百七十九部長、小澤同第五百八十部長、小澤同第五百八十一部長、小澤同第五百八十二部長、小澤同第五百八十三部長、小澤同第五百八十四部長、小澤同第五百八十五部長、小澤同第五百八十六部長、小澤同第五百八十七部長、小澤同第五百八十八部長、小澤同第五百八十九部長、小澤同第五百九十部長、小澤同第五百九十一部長、小澤同第五百九十二部長、小澤同第五百九十三部長、小澤同第五百九十四部長、小澤同第五百九十五部長、小澤同第五百九十六部長、小澤同第五百九十七部長、小澤同第五百九十八部長、小澤同第五百九十九部長、小澤同第六百部長、小澤同第六百一部長、小澤同第六百二部長、小澤同第六百三部長、小澤同第六百四部長、小澤同第六百五部長、小澤同第六百六部長、小澤同第六百七部長、小澤同第六百八部長、小澤同第六百九部長、小澤同第六百十部長、小澤同第六百十一部長、小澤同第六百十二部長、小澤同第六百十三部長、小澤同第六百十四部長、小澤同第六百十五部長、小澤同第六百十六部長、小澤同第六百十七部長、小澤同第六百十八部長、小澤同第六百十九部長、小澤同第六百二十部長、小澤同第六百二十一部長、小澤同第六百二十二部長、小澤同第六百二十三部長、小澤同第六百二十四部長、小澤同第六百二十五部長、小澤同第六百二十六部長、小澤同第六百二十七部長、小澤同第六百二十八部長、小澤同第六百二十九部長、小澤同第六百三十部長、小澤同第六百三十一部長、小澤同第六百三十二部長、小澤同第六百三十三部長、小澤同第六百三十四部長、小澤同第六百三十五部長、小澤同第六百三十六部長、小澤同第六百三十七部長、小澤同第六百三十八部長、小澤同第六百三十九部長、小澤同第六百四十部長、小澤同第六百四十一部長、小澤同第六百四十二部長、小澤同第六百四十三部長、小澤同第六百四十四部長、小澤同第六百四十五部長、小澤同第六百四十六部長、小澤同第六百四十七部長、小澤同第六百四十八部長、小澤同第六百四十九部長、小澤同第六百五十部長、小澤同第六百五十一部長、小澤同第六百五十二部長、小澤同第六百五十三部長、小澤同第六百五十四部長、小澤同第六百五十五部長、小澤同第六百五十六部長、小澤同第六百五十七部長、小澤同第六百五十八部長、小澤同第六百五十九部長、小澤同第六百六十部長、小澤同第六百六十一部長、小澤同第六百六十二部長、小澤同第六百六十三部長、小澤同第六百六十四部長、小澤同第六百六十五部長、小澤同第六百六十六部長、小澤同第六百六十七部長、小澤同第六百六十八部長、小澤同第六百六十九部長、小澤同第六百七十部長、小澤同第六百七十一部長、小澤同第六百七十二部長、小澤同第六百七十三部長、小澤同第六百七十四部長、小澤同第六百七十五部長、小澤同第六百七十六部長、小澤同第六百七十七部長、小澤同第六百七十八部長、小澤同第六百七十九部長、小澤同第六百八十部長、小澤同第六百八十一部長、小澤同第六百八十二部長、小澤同第六百八十三部長、小澤同第六百八十四部長、小澤同第六百八十五部長、小澤同第六百八十六部長、小澤同第六百八十七部長、小澤同第六百八十八部長、小澤同第六百八十九部長、小澤同第六百九十部長、小澤同第六百九十一部長、小澤同第六百九十二部長、小澤同第六百九十三部長、小澤同第六百九十四部長、小澤同第六百九十五部長、小澤同第六百九十六部長、小澤同第六百九十七部長、小澤同第六百九十八部長、小澤同第六百九十九部長、小澤同第七百部長、小澤同第七百一部長、小澤同第七百二部長、小澤同第七百三部長、小澤同第七百四部長、小澤同第七百五部長、小澤同第七百六部長、小澤同第七百七部長、小澤同第七百八部長、小澤同第七百九部長、小澤同第七百十部長、小澤同第七百十一部長、小澤同第七百十二部長、小澤同第七百十三部長、小澤同第七百十四部長、小澤同第七百十五部長、小澤同第七百十六部長、小澤同第七百十七部長、小澤同第七百十八部長、小澤同第七百十九部長、小澤同第七百二十部長、小澤同第七百二十一部長、小澤同第七百二十二部長、小澤同第七百二十三部長、小澤同第七百二十四部長、小澤同第七百二十五部長、小澤同第七百二十六部長、小澤同第七百二十七部長、小澤同第七百二十八部長、小澤同第七百二十九部長、小澤同第七百三十部長、小澤同第七百三十一部長、小澤同第七百三十二部長、小澤同第七百三十三部長、小澤同第七百三十四部長、小澤同第七百三十五部長、小澤同第七百三十六部長、小澤同第七百三十七部長、小澤同第七百三十八部長、小澤同第七百三十九部長、小澤同第七百四十部長、小澤同第七百四十一部長、小澤同第七百四十二部長、小澤同第七百四十三部長、小澤同第七百四十四部長、小澤同第七百四十五部長、小澤同第七百四十六部長、小澤同第七百四十七部長、小澤同第七百四十八部長、小澤同第七百四十九部長、小澤同第七百五十部長、小澤同第七百五十一部長、小澤同第七百五十二部長、小澤同第七百五十三部長、小澤同第七百五十四部長、小澤同第七百五十五部長、小澤同第七百五十六部長、小澤同第七百五十七部長、小澤同第七百五十八部長、小澤同第七百五十九部長、小澤同第七百六十部長、小澤同第七百六十一部長、小澤同第七百六十二部長、小澤同第七百六十三部長、小澤同第七百六十四部長、小澤同第七百六十五部長、小澤同第七百六十六部長、小澤同第七百六十七部長、小澤同第七百六十八部長、小澤同第七百六十九部長、小澤同第七百七十部長、小澤同第七百七十一部長、小澤同第七百七十二部長、小澤同第七百七十三部長、小澤同第七百七十四部長、小澤同第七百七十五部長、小澤同第七百七十六部長、小澤同第七百七十七部長、小澤同第七百七十八部長、小澤同第七百七十九部長、小澤同第七百八十部長、小澤同第七百八十一部長、小澤同第七百八十二部長、小澤同第七百八十三部長、小澤同第七百八十四部長、小澤同第七百八十五部長、小澤同第七百八十六部長、小澤同第七百八十七部長、小澤同第七百八十八部長、小澤同第七百八十九部長、小澤同第七百九十部長、小澤同第七百九十一部長、小澤同第七百九十二部長、小澤同第七百九十三部長、小澤同第七百九十四部長、小澤同第七百九十五部長、小澤同第七百九十六部長、小澤同第七百九十七部長、小澤同第七百九十八部長、小澤同第七百九十九部長、小澤同第八百部長、小澤同第八百一部長、小澤同第八百二部長、小澤同第八百三部長、小澤同第八百四部長、小澤同第八百五部長、小澤同第八百六部長、小澤同第八百七部長、小澤同第八百八部長、小澤同第八百九部長、小澤同第八百十部長、小澤同第八百十一部長、小澤同第八百十二部長、小澤同第八百十三部長、小澤同第八百十四部長、小澤同第八百十五部長、小澤同第八百十六部長、小澤同第八百十七部長、小澤同第八百十八部長、小澤同第八百十九部長、小澤同第八百二十部長、小澤同第八百二十一部長、小澤同第八百二十二部長、小澤同第八百二十三部長、小澤同第八百二十四部長、小澤同第八百二十五部長、小澤同第八百二十六部長、小澤同第八百二十七部長、小澤同第八百二十八部長、小澤同第八百二十九部長、小澤同第八百三十部長、小澤同第八百三十一部長、小澤同第八百三十二部長、小澤同第八百三十三部長、小澤同第八百三十四部長、小澤同第八百三十五部長、小澤同第八百三十六部長、小澤同第八百三十七部長、小澤同第八百三十八部長、小澤同第八百三十九部長、小澤同第八百四十部長、小澤同第八百四十一部長、小澤同第八百四十二部長、小澤同第八百四十三部長、小澤同第八百四十四部長、小澤同第八百四十五部長、小澤同第八百四十六部長、小澤同第八百四十七部長、小澤同第八百四十八部長、小澤同第八百四十九部長、小澤同第八百五十部長、小澤同第八百五十一部長、小澤同第八百五十二部長、小澤同第八百五十三部長、小澤同第八百五十四部長、小澤同第八百五十五部長、小澤同第八百五十六部長、小澤同第八百五十七部長、小澤同第八百五十八部長、小澤同第八百五十九部長、小澤同第八百六十部長、小澤同第八百六十一部長、小澤同第八百六十二部長、小澤同第八百六十三部長、小澤同第八百六十四部長、小澤同第八百六十五部長、小澤同第八百六十六部長、小澤同第八百六十七部長、小澤同第八百六十八部長、小澤同第八百六十九部長、小澤同第八百七十部長、小澤同第八百七十一部長、小澤同第八百七十二部長、小澤同第八百七十三部長、小澤同第八百七十四部長、小澤同第八百七十五部長、小澤同第八百七十六部長、小澤同第八百七十七部長、小澤同第八百七十八部長、小澤同第八百七十九部長、小澤同第八百八十部長、小澤同第八百八十一部長、小澤同第八百八十二部長、小澤同第八百八十三部長、小澤同第八百八十四部長、小澤同第八百八十五部長、小澤同第八百八十六部長、小澤同第八百八十七部長、小澤同第八百八十八部長、小澤同第八百八十九部長、小澤同第八百九十部長、小澤同第八百九十一部長、小澤同第八百九十二部長、小澤同第八百九十三部長、小澤同第八百九十四部長、小澤同第

ガブレンツ機 今曉臺北を出發

豪雨を衝き福岡に向ふ

午前八時五十七分 福岡飛行場に安着

四日午前三時八分台北飛行場を出發

午後零時十四分大阪を通過

午後一時三分 東京羽田飛行場に安着

【東京四日發同盟至急報】ガブレンツ機は午後二時三分羽田飛行場に安着した

三日台北飛行場に寄つた訪日ガブレンツ機は台北飛行場の格納庫で整備を休める間もなく四日午前三時八分折柄の豪雨を衝いて出發東京に向け最後のコース飛翔の途に就いた、この日前日より降り續いた雨はやまず、二時半頃には更に豪雨となり飛行場一面は水溜りと化した中を格納庫から曳き出され配いつばいに給油を受け二回に亘るエンヂンのテストも薄暗夜に響くプロペラの雄叫びも四辺を壓して重し銀りである、斯くて午前三時五十分頃機長ガブレンツ男を始め機關士アルフレッド・ヘルム氏機關士ウインデル・ウオルシニ兩氏、通信士ウルター・コーベル氏、乘客カウマン、郵十夫妻は石井台北市尹、日高航空部長、長岡航空官、大西大日本航空會社台北支所長等に取り囲まれ、萬歳裡に盛んな送別を受け晴れの壯途元服を飾られた後直ちに機上の人となり同三時八分最初の如き拍手裡に次燈を絶つて鮮かに夜闇、ラヂオビーコンの電波を頼りに一路東に向け内地の空目指して驀進した

【ローマ三日發同盟】イタリー皇帝ニマヌエル三世陛下はシチリア島の軍備狀況視察のため同島御巡歴を行はせられることになり、三日朝メッシナ海峽を御通過シラクーザに向はせられた

伊皇帝陛下 シ島へ御巡らる

午後四時大阪上空を通過した

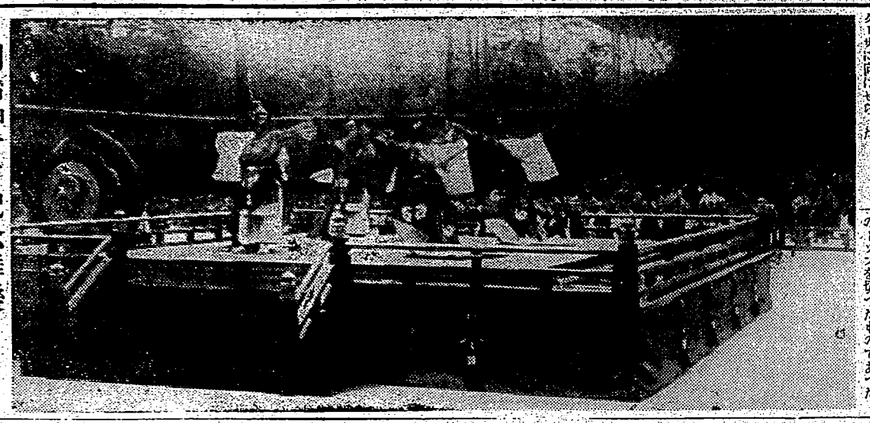
【東京四日發同盟至急報】ガブレンツ男は午後二時三分羽田飛行場に安着した

遞信部の電送寫眞 なか〳〵好成績を示す

ガブレンツ機の寫眞でも大成功

【會見記】遞信部では電送寫眞の試驗的取扱を開始したのは昨年十月二十九日、愈〻公式取扱をやつたのが同十二月五日で同日關東市郡女總特派員の寫眞を台北へ發信したのが最初であつた、それ以來今日に至るまで默々として電送寫眞に關する部門に日數十枚に及んで居る、勿論二日午後ドイツルフト・ヘンゲルのガブレンツ男の台北飛行場着陸直後の着後の種々な光景の寫眞十四枚の電送も行はれたが、それがスラスラ終了したのが午後九時半で、すべての好條件に惠まれ且つ技術も進んで極めて好結果を收めた

【遞信部談】台電送寫眞の最初の發信者は關東州大連通信局長、次は台北放送局長、三番目が台北帝大學生課長、四番目が台北帝大總長、五番目が台北帝大學生課長、六番目が台北帝大學生課長、七番目が台北帝大學生課長、八番目が台北帝大學生課長、九番目が台北帝大學生課長、十番目が台北帝大學生課長、十一番目が台北帝大學生課長、十二番目が台北帝大學生課長、十三番目が台北帝大學生課長、十四番目が台北帝大學生課長、十五番目が台北帝大學生課長、十六番目が台北帝大學生課長、十七番目が台北帝大學生課長、十八番目が台北帝大學生課長、十九番目が台北帝大學生課長、二十番目が台北帝大學生課長、二十一番目が台北帝大學生課長、二十二番目が台北帝大學生課長、二十三番目が台北帝大學生課長、二十四番目が台北帝大學生課長、二十五番目が台北帝大學生課長、二十六番目が台北帝大學生課長、二十七番目が台北帝大學生課長、二十八番目が台北帝大學生課長、二十九番目が台北帝大學生課長、三十番目が台北帝大學生課長、三十一番目が台北帝大學生課長、三十二番目が台北帝大學生課長、三十三番目が台北帝大學生課長、三十四番目が台北帝大學生課長、三十五番目が台北帝大學生課長、三十六番目が台北帝大學生課長、三十七番目が台北帝大學生課長、三十八番目が台北帝大學生課長、三十九番目が台北帝大學生課長、四十番目が台北帝大學生課長、四十一番目が台北帝大學生課長、四十二番目が台北帝大學生課長、四十三番目が台北帝大學生課長、四十四番目が台北帝大學生課長、四十五番目が台北帝大學生課長、四十六番目が台北帝大學生課長、四十七番目が台北帝大學生課長、四十八番目が台北帝大學生課長、四十九番目が台北帝大學生課長、五十番目が台北帝大學生課長、五十一番目が台北帝大學生課長、五十二番目が台北帝大學生課長、五十三番目が台北帝大學生課長、五十四番目が台北帝大學生課長、五十五番目が台北帝大學生課長、五十六番目が台北帝大學生課長、五十七番目が台北帝大學生課長、五十八番目が台北帝大學生課長、五十九番目が台北帝大學生課長、六十番目が台北帝大學生課長、六十一番目が台北帝大學生課長、六十二番目が台北帝大學生課長、六十三番目が台北帝大學生課長、六十四番目が台北帝大學生課長、六十五番目が台北帝大學生課長、六十六番目が台北帝大學生課長、六十七番目が台北帝大學生課長、六十八番目が台北帝大學生課長、六十九番目が台北帝大學生課長、七十番目が台北帝大學生課長、七十一番目が台北帝大學生課長、七十二番目が台北帝大學生課長、七十三番目が台北帝大學生課長、七十四番目が台北帝大學生課長、七十五番目が台北帝大學生課長、七十六番目が台北帝大學生課長、七十七番目が台北帝大學生課長、七十八番目が台北帝大學生課長、七十九番目が台北帝大學生課長、八十番目が台北帝大學生課長、八十一番目が台北帝大學生課長、八十二番目が台北帝大學生課長、八十三番目が台北帝大學生課長、八十四番目が台北帝大學生課長、八十五番目が台北帝大學生課長、八十六番目が台北帝大學生課長、八十七番目が台北帝大學生課長、八十八番目が台北帝大學生課長、八十九番目が台北帝大學生課長、九十番目が台北帝大學生課長、九十一番目が台北帝大學生課長、九十二番目が台北帝大學生課長、九十三番目が台北帝大學生課長、九十四番目が台北帝大學生課長、九十五番目が台北帝大學生課長、九十六番目が台北帝大學生課長、九十七番目が台北帝大學生課長、九十八番目が台北帝大學生課長、九十九番目が台北帝大學生課長、百番目が台北帝大學生課長

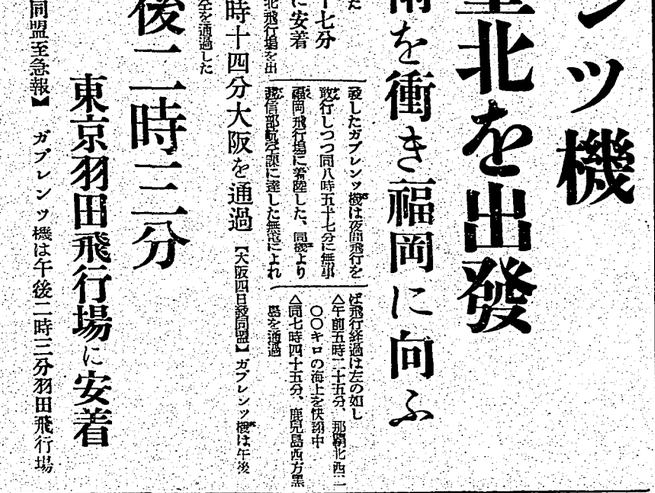


明治神宮で記念舞樂

大正四年五月一日明治神宮の別格官幣大社列格を仰ぎ出された二日はその記念日に當るので明治神宮では神官關係者多數を招待、式典前の舞樂において午後一時から多品部雅長以下二十九名の宮內省樂部員による御大典奉祝二曲の舞樂の復興を行つた（寫眞は當日の舞樂）

陸の荒鷲が溝縣及び五龍宮を猛爆撃

（陸軍省發下げ）



西尾惠美子さん 嘉義と臺南で飛ぶ

郷土訪問の計畫進む

【嘉義電話】台湾飛行初の女流飛行家、西尾惠美子さん（二）は歸台以來出身地嘉義の自宅に滯在中であるが、之に先立ち西尾機は飛行學校練學から現在まで並々ならぬ懇願を受けた後援會に對する感謝と、今日を待ち侘び中途故に長逝した亡父の靈前に參詣し感謝の意を表する爲、來る十日に至るまで默々として電發する筈になつて居る、勿論二日午後ドイツルフト・ヘンゲルのガブレンツ男の台北飛行場着陸直後の着後の種々な光景の寫眞十四枚の電送も行はれたが、それがスラスラ終了したのが午後九時半で、すべての好條件に惠まれ且つ技術も進んで極めて好結果を收めた

印度の領主と王子 世界一周の途次來朝

【嘉義電話】四月廿日發同盟】曾て第五回の日本を瞥見がねインドから王殿と王子さまの一行が二百年後三時半紳戸入港のピーオー汽船ラヂプタナ號で來朝した、此一行はインド、カから選拔したガブレンツ機は午後二時三分羽田飛行場に安着した

【嘉義電話】四月廿日發同盟】曾て第五回の日本を瞥見がねインドから王殿と王子さまの一行が二百年後三時半紳戸入港のピーオー汽船ラヂプタナ號で來朝した、此一行はインド、カ

ベーサラ王國の領主マラジア・カベーサラ殿下、王子アマルジット・シング殿下其他隨從者及び從者等の顯々しい顏觸れで世界一周の途、來朝したもの、上陸後直ちに自動車を連ねて京都、奈良地方の觀光に向つたが約一週間京都、奈良地の都觀光に向つたが約一週間

片ちんばの大陸進出では駄目

若き女性達は喜んで妻として男子に協力されたい

世界に誇る日本の百合の品種 ざっと數へても これほど澤山ある （下）

北京の聖者として海外にその名を知られ日支親善の爲に盡力する事を久しく經營してゐる福水安三氏はこの程同學園の卒業生を內地の學校に入學させるべく上京中であるが、同氏を訪れ、大陸進出と日支提携について意見を伺つた（以下記者）

今度の聖戰は日本と支那とが眞に心から提携して東亞百年の和平を招來するといふのがその眞の目的なのですが、これについて支那人は一體に日本の眞實の心を汲みとつてゐないのは誠に遺憾に思ひます。事變前までは北京には約三千人の日本人が居りましたが、今日では一躍して四万人を數する程になり、またその他の都市でも事變前後には一人も日本人が居なかつた邸でも、今日では十人、二十人と續々と日本人が入り込んで、北支中支だけで約二十万人の日本人がゐる狀態で日本の大陸進出といふ點からは誠に結構な事と思ひますしかし一方から考へると、日本人がかくも支那に多くの人が入つて來てゐるのは、大抵金儲けの爲であるのです。女性で支那に來てゐるのは料理屋の女中や藝妓等

×

何故日本女性がかうした商賣をしてゐる者の多いのは誠に遺憾に思ひます。

×

何故日本女性がかうした商賣をする者が多くなるかといふと、それには大きな原因があるので、一概に責める訳にもゆかないのです。即ち日本人が大陸に進出する場合は大抵獨身の男一人出かけるのですから、これは商賣が饒を出來てゆくのです。即ちお客ちんばの大陸進出といわれる譯で、獨身の男一人が大陸に出かけるのですから、これは女性でも行くといふやうにしなければならないと思ひます。現在の狀態では日本の女性はやはり內地で相當の處に嫁ぎたいといふのが大方の希望である譯ですから、これは大陸政策として

母親を困らせる赤ん坊の夜泣き

その原因は何でせう

赤ん坊でも一向夜泣きをしないのはそれこそ例外ものですが、先づ大抵は一度は夜泣きにすつかりまゐつてしまふことがあるとみえばなりますまい、赤ん坊の夜泣きとくると親が最も出したくなるのはまだしも、果ては隣まで神經衰弱で轟き渡くなり、夫婦喧嘩もそれが因で初まるといふやうなれこその面白くないことになるものです、一體赤ん坊はどうして夜と晝とを區別するものかといふ點に就て專門家の意見を聞いて見ますと、赤ん坊は晝間は大抵寢てゐるもので、夜中になると目を覺ますものだといふ事です、これは丁度人並以上色の黑い方や、皮膚の厚いニキビ、シミ、吹出物及び小皺等色々の醜いものが出來てゐる方々が、餘く少量ではあるがコロイド硫黃を含んでゐる硫黃泥を温泉に浴して居ります、從つてスベ〳〵した綺麗な皮膚を作り上げた樣な美しい肌になるのと同一理由です。最近更にこのコロイド硫黃を多量に配合した硫黃石鹸が發賣されて居ります、これは其の方が足りなかつたりして、赤ん坊の皮膚が適度に發育しないためとか、母親のお乳が足りなかつたり、與へ方が足りなかつたりして、赤ん坊は不足分を補ふ爲に泣くのですが、先づ大抵は一度は

魯西亞船

(15)

土師清二作

坪内節太郎畫

捕縄(七)

黒助が岡ヶ見を縛って、自分を投げつけて格闘にでる気合を見せた。岡ヶ見は用心しながら飛犬のやうに気負ひ立つて、突進った。

「ナナ何でチ、殺さうとしたと…手前、そりやアあべこべだ。こッちの文句を言ひてくれやがる！」

「親方、殺害してくれ」

と突つて黒助は、自分を縛り振りくとふのだ。

「お前の名は？」

「ナニヲ」

と岡ヶ見は言ひした。

「聞かせてくれよ、親方」

「いけ太い野郎だな。よしッ聞きたきゃ聞かしてやる、俺アな、鳥越の文吉だ。文吉さんか」

「ナニを？……この野郎。勘次にお縄を頂戴しろ！」

「待つてくれ、文吉さん。俺アお前が好きになつた。聞かしてくれお前は一体何だと思つて縛らうとしてるのンだ？聞かせてくれないか」

先刻二人の武士を殺したのを、この男が見てゐたのならば、不敵ながら生かして置けぬ。咄にこの男を片付けて置かう——と黒助は口には出さないが無論用意をしてゐるのだ。

「ナニも無いものか……悲しい奴だと諦んだ俺の眼と並ぶは無え！」

「ほてすッぱうか。聞いたねえ、さうかい。それちやお前に縛られてやる訳にやいかねえ。文吉さん」

「それた野郎だ……ゥ！」

「今度は、このままお別れにしようそれとも未だ縛りたいかね」

「縛るとも！」

と言つたが文吉も、もはや相手が後着いてゐるので気味が悪くなつてきた。その上に何所と無く重しいところがある。只者でない気配が感じられる。

「お前、町人やそぢやあるめえ」

「さう見えるか？」

黒助の眼が、殺気を現はした。

文吉は思はず一足後へ引いた。

「それだが、その前は侍だらうコシラヘル コトニ ナリマシタ。コノテ カヨッテ キマス。

▲キノフ タイホクノ ヒカウデヤウニ チャクリクシタ ドイツノ ガブレンツキ ハ、ケサム イキタシナデ ハタライテ イラッシャル ヘイタイサンガタハ、ドンナニ オヨロコビニナル コトデセウ。

▲ケモノノ カハハ センサウノ ダゥヮツクル タメニ、タクサン ツカハレテキマス。ジュウゴノ ワタクシタチハ、コノゲモノノ カハヲ デキルダケ セツヤクシナイト イケマセン。ソレデ、ナイチノシマネケンノ アル キナカノ セウガクカウデハ、タケデ コシラヘタ ランドセルヲ セイトニ ツカハセテ キマス。セイトタチハ ムラデ コシラヘタ タケノ ランドセルヲ セオッテ、マイニチ ガクカウニ カヨッテ キマス。

▲タイワンノ ミナミノ ハウデハ、カンシャカラハ オサタウヲ トルノデスガ、オホキナノネズミガ デテキテ コレヲ カジルノデ、オサタウヲ ツクルクワイシャデハ、タイヘン コマッテ キマス。チャウド イマハ ヒジャウジデ、ケモノノ カハガ タリナク ナッテ キマシタノデ、コンドカラ コノノネズミヲ タクサンツカマヘテ、カハヲ ハギ、コノ カハヲ トウキャウニ オクッテ、テブクロヲ コシラヘル コトニ ナリマシタ。コノテブクロハ センチニ オクラレルノデスガ、サムイキタシナデ ハタライテ イラッシャル ヘイタイサンガタハ、ドンナニ オヨロコビニナル コトデセウ。

▲ゴ二時ゴロ トウキャウニ ツク ハズニナッテキマス。

黒助の任務は、遺船衛を偽み取ること、探偵の活動力、観察力を調査すること、薩州、長州、四国中国、諸藩の活動力、観察力を調査することなど——機密を探るのである。最も重要なのは、探偵や諸藩が英佛米の外国と重要人の交渉契約を結に行つてゐる事を知ることだつた。重臣の進力、観察してゐる大郎

カナ文字ニュース

大浦一朗の浪曲

四日から榮座で

テイチク專屬でスポーツ浪曲の郎君と言はれる大浦一郎の浪曲競演は四日から四日間（毎夕六時から）榮座で開演される、出演者は大浦一郎のほか大浦勝代、大浦次郎、藤甲燕郎丸、岡天風、春野曙雪、大浦一郎の謝物は新聞紙士得、東都平八郎物語、火の國紳風團、孤島の復讐、早雲野球決勝戦ではニ

思ひつき夫人

新映畫 東寶映畫製作

製作 稲葉 利男
原作 菊田 一夫
脚色 小國 英男
演出 齋藤寅次郎
撮影 友成 達男
配役
松山龜五郎 山野 一郎
夫人つる子 竹久千恵子
妹 よし子 戸川 昌子
娘モクちゃん 竹内 洋子
八百屋の留さん（吉本興業） 花菱アチャコ
留さんの友人（吉本興業） 千歳家今男
留さんの女房おかん 清川 虹子
銀さん（松山家族） 齋立のぼる
牛乳配達の二吉 岸井 明
よし子の戀人（ピクター） 須田 勇太
明手（ピクター） 市丸
特別出演、ハルピン交響樂團 朝鮮交響樂團

梗概

——世の中には、昔から「思ひつき」とか申します、まこと重寶なものがございまして、いろいろと人騒の發展に役立つまいたしたらで——所（ばこ）さん花形で、古ウイシヤツを肩の所から脇をとつて縫くるめて縫をつけ洋服カアにすると重寶デス。とか魚を焼く時串を酢に漬らして刺すと焼く時に反がつかないデス。とか、もし玉飛散騒をしたら接着剤に二人で隙間なくつけること、一度でも仲裁して貰ふと同時に喧嘩をする癖がついてしまふデス。と云つた具合——まあ、これ等はたいへん發明のある部類に屬する智慧ではありますが、しかし、いかにキリスト君や蔡倫氏が偉かつたかしりませんが、かういふことは一寸御存知なかつたことと思ひます。雖かに人類は頭一頭進歩したるわけですナ。さて、まことに聰明なる松山龜五郎夫人つる子女史は、一名「思ひつき夫人」と言はれてゐるほど、かねて種々なる思ひつきを發見して御近所から絶大な歓迎を受歓してゐました。

「赤い旗が出てゐたら御用がある印、白い旗の時は無い印」これで

お互ひに無駄な時間が防止できるわけ、御用聞き達は感心しましたしかし、つる子夫人のこのリソベな思ひつきを無駄する二人の御用傷きが現はれました。愕れたソコミと申しませう。女中のおさとさんとしつぽりと人目を忍ぶ相愛れの比景をみた妹背の三吉君は怖い夫人の眼をぬんではおさとさんと駆手ロで喋嘯を。ある日、現場を發見した夫人は御宿を逆立て、早速おさとさんの父親八百留を呼びつけてキツイ談判、八百留は「娘が好きな男やつたら、まあ我慢がおまへんやろ、自分の男を見る眼くらゐは持つてまつしやろ」と嫁なトコを見せましたが夏田夫人は娘のふしだらに加擔するそんなルーズな態度を持つてゐる人は松山家の出入を一切ならないと言つて頭からうつちめました。ところが、なんとまあ若い女の子といふものは、血氣にまかせて火遊びが好きなのでありませう。妹よしまさんに來た一郎君からのダメヲス戀文を發見したつる子夫人は又復憤慨しかも二人の仲を取りもつてゐるのがこともあらうに醜社重役に成れ、醜脱直後で水産會社が設立してゐる有川總介の黒助であつた。

臺日漢詩壇

選者 魏 清徳

天長令節感賦 山本秋峰

常聞聖主治隆唐 萬國衣冠拜冕旒
海宇昇平民樂業 天長令節感恩深
（聖主＝明治天皇 冕旒＝天子の冠）

觀海有感 伊人新製望遠鏡

山河縹緲三千里 一覽全收水陸程
佳製管窺新利器 能令遠近盡分明
（縹緲＝ぼんやりと見えるさま 管窺＝狭い見識）

謝妓贈扇 謝妓雲

松山龜五郎 山野 一郎
夫人つる子 竹久千恵子
妹 よし子 戸川 昌子
娘モクちゃん 竹内 洋子
八百留の留さん（吉本興業） 花菱アチャコ
留さんの友人（吉本興業） 千歳家今男
留さんの女房おかん 清川 虹子
銀さん（松山家族） 齋立のぼる

梗概

牛乳配達の二吉 岸井 明
よし子の戀人 須田 勇太
明手（ピクター） 市丸
特別出演、ハルピン交響樂團 朝鮮交響樂團

東京短期前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

東京銀行貸株

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

東京米前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

東京鉛柄清算前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

大阪期米前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

大阪期米前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

大阪期米前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

大阪砂糖清算前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

大阪砂糖現物

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

神戸豆粕前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

大阪棉花前場

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

横濱生絲前後

引	高	安
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七
四五	三六、三五	三七
四三	三六、五五	三七

臺日案内

書籍

支那大地圖	縮尺七百萬分一	金三十五錢
臺灣總督府公認	臺北市榮町	送料十錢
製糖會社職員錄	定價一圓二十錢	金一圓十錢
最近調査	臺北市榮町	送料十錢
臺灣正市公定相場	臺北市榮町	電話一七五一番
海南島	現在の資源と開發	定價一圓
廣東省公路路圖	縮尺一百萬分一	金三十錢
南洋協會臺灣支部	臺北市榮町	振替臺北一二番

醫院

X光線 小林醫院 臺北大稻埕二丁目二番
新内科 兒科 電話(三)一四五番

內地拓殖

桐田の屏東木瓜 臺北榮町 電話六五番

性病科

永吉醫院 西門町一丁目東側 電話(三)六〇

寫眞

一目でK I 露出計 二圓定價 一圓五〇錢
解る 島内一手販賣店 西門町榮館

時計眼鏡

和田はメガネ專門 臺北本島人街第一 電話(三)一〇番
臺北市榮町一丁目 電話九五七番

メガネ專門日光堂 臺北市榮町一丁目 電話(三)一〇番

金融

電話 商品券 臺灣商品券發行所 臺北市榮町 電話(三)一〇番

藥種商

喘息ワンカ 服んで直ぐ咳く 臺北榮町四丁目 電話(三)一〇番
本舗 臺北市榮町四丁目 電話(三)一〇番

淋病に黒焼 あらゆる泌尿器病 臺北市榮町四丁目 電話(三)一〇番
肺炎に吸入用酸素 臺北榮町2丁目 電話(三)一〇番

洋服

洋服 御毛織物は當店へ 臺北榮町 電話(三)一〇番
本舗 電話361番

製靴商

靴 お手入れは修繕部へ 臺北榮町五丁目 電話(三)一〇番
ルドー革 甘皮 ゴム 電話九五七番

自動車

ラヂエーター 自動車用 臺北大稻埕四ノ三 電話(三)一〇番
自動車修理 小牧商會

雜件

子供服帽子村井行 型の新しい御注文 臺北榮町 電話(三)一〇番
特許商標 岸喜鑑 事務所 臺北日町多ノ一 電話(三)一〇番

冷藏庫製作は八木 臺北榮町 電話(三)一〇番
アイキャンデ 臺北榮町 電話(三)一〇番

國產眼鏡高級

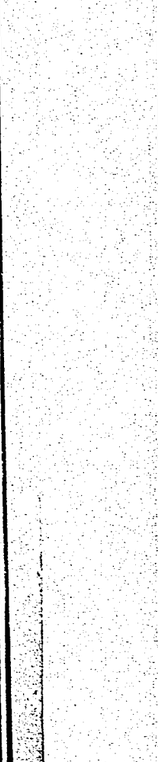
日光ベン 見本入御注文 臺北市榮町二丁目 日光堂

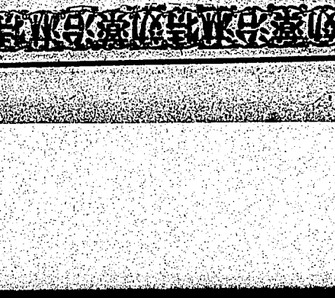
コドモノ エンソク グリコノ エンソク 江崎グリコ株式會社 大阪市西區

海(外)小(小)話

蛇とブラス・バンド

オールタウン中等校では蛇生徒のブラス・バンドが出來て、毎日課外體操に蛇で演奏をするのが例となつた、近頃小春日和が續くやうになつたので、毎日課外體操が來ると必ず一匹の蝮蛇を校舎の壁穴から引き出して演奏を聞かせるやうになつた、生徒達は勇ましい樂曲を聞きながら體操をするのを樂しみにしてゐる、その蛇が冬籠りの爲め、又もとの穴へ入つて行くので、蛇をとらずに「蛇の音樂會」を聞くことが出來なくなつた。





臺灣日日新報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十四年五月五日（金曜日）
日本唯一夕刊共十二頁
編輯兼發行人 佐々木八郎
臺北市榮町三丁目四番地 所在地
臺灣日日新報社
定価 本紙一ヶ月金壹圓五拾錢・一ヶ月金四圓拾錢・六ヶ月金八圓・一年金拾七圓（日本國內送料共）
廣告用 五八〇三番 編輯用 五八〇二番 庶務用 五八〇一番 印刷所 五八〇四番
電話 代表 五八〇一番
臺灣日日新報 臺灣版 臺灣總督府 一行十五字 壹圓五拾錢
臺灣日日新報 內地版 別一行 同 貳圓五拾錢

蔣政權の最高首腦部 恐怖のどん底に陷る

海鷲の重慶大空襲

福州は宛然死都

我荒鷲連日の空襲に 書は街上に人影なし

臘月を浴びつゝ入城 河南北部の濟源占領

二日も福州爆撃 省黨部及び軍機局に大損害

平沼首相の訓示 地方長官會議第一日

獨伊大使と外相が要談 歐洲情勢に關し

郵貯の增加 人員、七十四萬餘人 金額五千八百萬圓

小學校中學校女學校卒業者が 成功登龍門

自宅セミナール制（研究組織）學校式確實教授
自宅セミナール（綜合）（各科ヲ）最完備大組織
我國最大ノ綜合（各セメ）最完備大組織
高等官・判任官・辯護士・辯理士・計理士・錄道員・養豚官
滿洲國司法官・書記官・執行官・律師・警士・警長養成
中學校・商業學校・工業學校卒業資格獲得指導
本學ハ我國最大ノ綜合最完備大組織ノ下ニ日本無比ノ最新式優秀教授ヲ以テ地方自宅勉學者ヲシテ三ヶ月乃至三ヶ年ニテ各種學科ヲ修得セシメ必ズ成功セシム

自宅居ながら學校と同じ教授

十科編成綜合最完備大組織
日本無比最新教授（テレパカルト）
帝國法政大學
昭和十四年度（長距離）學生（募集）

TELEPAKULT
テレパカルト（Telepakult）トハ、我帝國最新最完備ノ優秀確實教授ノ教室ニアッテ、即チ遠方自宅ニ居ナガラ學校ノ教室ニアッテ學ブト全ク同様ニ學力ノ獲得ヲ期スルコトヲ得、從來ノ通信教授トハ其ノ指導方法ヲ異ニスル最モ科學的新機軸特ノ教授法デアル。ジカモ本學ノ組織ハ我國最大ノ綜合最完備大組織デアッテ、小學校卒業者ハ何人ト雖モ自己ノ志望科ヲ選擇スルコトヲ得ル。今ヤ新學期生ノ入學申込受付ヲ開始スルニ以テ定員締切前ニ入學御希望ノ方ハ左記ノ何レカヘ御申込アリタシ

▼我國唯一ノ綜合最完備組織ノ際地
▼自宅ニ居ナガラ長距離最新式優秀徹底教授
▼各種專門諸學科ト共ニ中等普通學全科ノ（長距離）教授
▼工業躍進時代ニ即應シ工業技術者ヘノ速成指導

新學期開始セミナール（研究組）制長距離最新式優秀徹底教授
敎授陣綜合制テレパ帝國法政大學學生ヲ募集ス

中學科 テレパ教授
商業科 テレパ教授
工業科 機械科 テレパ教授
旋盤工 仕上工 鑄工 養成科 テレパ教授
判任文官 養成科 テレパ教授
鐵道員 養成科 テレパ教授
警察官 養成科 テレパ教授
大學部 高文資格科 テレパ教授
大學部 法律學專修科 テレパ教授
大學部 法律學 普通學 兼修科 テレパ教授

募集人員 一ケ年修了組 五百名
募集人員 一ケ年 五百名
募集人員 一ケ月組 五百名
募集人員 十ケ月 五百名
募集人員 一ケ月 五百名
募集人員 一ケ年 五百名
募集人員 一ケ年 五百名
募集人員 一ケ年 五百名
募集人員 一ケ年 五百名
募集人員 一ケ年 五百名
募集人員 一ケ年 五百名

●本學各科中一科ヲ選定シ即時入學セヨ
本學ハ我國最大ノ綜合最完備大組織ノ下ニ現在ノ最長距離最新式優秀徹底教授法ニヨリ全日本青少年ノ為メ新學生ノ入學申込ヲ開始シタ。全日本青少年諸君ハ本學ノ新時代ノ組織ニシテ且ツ優秀無比ノ教育テレパカルトニ依リ全勝的ニ學ビ立派ナル人物トナレ。

規則入學案內書 至急一通ヲ郵送ス 「志望科記入ノ上申込ミ來ル」ヲ以テ請求セヨ 代金不要

東京市下谷區上野櫻木町二九ノ六
帝國法政大學

【上海四日發同盟】蔣政權軍事部隊
一、中支方面 二日江西省方面國軍部隊に協力せる我內地部隊は當面方敵陣地に有效なる攻撃を實施せり
二、南支方面 二日我海軍航空部隊は南支の福州攻略を實施し、官衙及び軍機局を爆撃、大なる效果を與へたり

【東京四日發同盟】河南北部戰線

戰線中の○○部隊は二日夜自發的に

臺灣日日新報 第一萬五四千五十六號 （一）

【○○發同日發同盟】彈を持し時期を狙つてゐた我が海軍航空部隊は二日午前戰局の如く○○部隊に對し本年初頭以來曾つてなかつた大○○○を○○、軍事施設に大○○を與へたるのみならず敵秘密裡に招集中の最高國防委員會出席中の蔣政權最高首腦部を恐怖のどん底に陷れた、○○らの日中支二箇所の大○○○は午後一片の斷雲さへ浮かぬ絶好の爆撃日和に惠まれ、基地に待機中の我○○○の○○○は命令一下○○○

公定價格確保の爲 砂糖分割供給制 糖聯で實施に決定

四、五兩日臺北で開催

【東京四日發同盟】糖業統合會では砂糖の公定價格確保の爲めこれが需給調整策として分割供給制を實施するに決し委員會を設け具體案樹立方を研究中の所謂割當制度の實施を決したので、五日各社協議會を開き決認を得た上實施することとなつた、委員會案左の如くである

▲期間　第一期製糖、直播第二期製糖及び耕地白糖、一番蜜の二番白に分けて分割供給を行ふ　一、第一期（四ヶ月）第二期（二ヶ月）第三期（六月一日より九月末日迄）第四期（二ヶ月）十一月一日より翌年四月末日迄の四期とし第一期は二月分を、第二期は四月分を、第三期は六月分を、第四期は八月分を夫々供給する　二、第一期供給數量は同年度製糖數量の四割五分に當る數量とし第二期は三割、第三期は二割、第四期は五分とする　三、各期供給數量は同年度の三割五分を標準として各地方別に配給する

▲割當　製糖會社、直播第二種製糖及び耕地白糖、一番蜜の二番白に分けて分割供給を行ふ　一、第一期（四ヶ月）第二期（二ヶ月）第三期（六月一日より九月末日迄）第四期（二ヶ月）十一月一日より翌年四月末日迄の四期とし第一期は二月分を、第二期は四月分を、第三期は六月分を、第四期は八月分を夫々供給する　二、第一期供給數量は同年度製糖數量の四割五分に當る數量とし第二期は三割、第三期は二割、第四期は五分とする　三、各期供給數量は同年度の三割五分を標準として各地方別に配給する

▲特別割當　新製糖、直播第二種製糖及び耕地白糖、一番蜜の二番白に分けて分割供給を行ふ　一、第一期（四ヶ月）第二期（二ヶ月）第三期（六月一日より九月末日迄）第四期（二ヶ月）十一月一日より翌年四月末日迄の四期とし第一期は二月分を、第二期は四月分を、第三期は六月分を、第四期は八月分を夫々供給する　二、第一期供給數量は同年度製糖數量の四割五分に當る數量とし第二期は三割、第三期は二割、第四期は五分とする　三、各期供給數量は同年度の三割五分を標準として各地方別に配給する

▲割當數量　各期供給數量を同日發表する

▲割當方法　各期供給數量を同日發表する

▲割當方法　各期供給數量を同日發表する

▲割當方法

臺日社の美擧は 天文學普及に貢獻

—招くよ南天の諸星座—

臺北高等學校理學博士　西村傳三

△

暴風の眼西に落ちて颱風消ゆとよく時、暴雨に驚倒とまたた屋根を叩けば詩人たらずとも泪の時の巧緻に驚し学者たらずとも自然の神秘究の念にからられるであらう。

天文学は最も古い歴史を有する学問にて古代エヂプトにては曙天に輝くシリウスにナイル河の泥濘を知りて暦日の時期を定め、支那にては既に紀元前二千六百年頃に於て黄帝を知りて閏月を設置したる記録に見られるが如く、既に巨智を絞たへ千古の謎を包むスフインクスは実に二十二世を歴どれるものとはいはれる。

我が国にても既に昔時より親しまれ、殊に女の優しき物語は、遠く人口に膾炙し、七夕祭は今日休しき年中行事の一つである。

△

近代科学の礎ニュートンの万有引力の発見は古来よりの天体観測に関する断片的知識を綜合せるものにて、その先駆者ガリレオの望遠鏡の発明は実に天文学上のみならず科学の上に大飛躍をもたらしたものである。ガリレオは西紀一六〇九年初めて自製の望遠鏡にて天体を観測し、月面を眺め、木星の四衛星を発見してコペルニクスの地動説の眞なること確定した。以後望遠鏡の改善と共に天文学も改善しき進歩を示し、最近科学技術の基礎をなしてゐる。

△

望遠鏡は構造上屈折望遠鏡と反射望遠鏡とに区分せられる。屈折望遠鏡は対物鏡に凸面レンズを使用せるものにてガリレー式、ケプラー式があり、反射望遠鏡は対物鏡に凹面の鏡を利用せるものにてグレゴリー式、ニュートン式、カセグレン式、ハーシェル式が有名である。この屈折望遠鏡は口径四吋の赤道儀式屈折望遠鏡にて時計仕掛によつて自動的に天体を追従して観測し、その設置せる台屋は直径五米四五糎を有して天空の如何なる部分にも容易に望遠鏡を向け得る本島唯一のものである。

なほ望遠鏡には、その全能力が発揮せられること思ふ。

△

斯様に地理的の好條件に恵まれた台湾にあける同好の士はこの機を十分に利用して天上の美観の観賞を味はせられると共に研究の為に奮励されることを切望する次第である。

△

この度台湾日日新報社が率先して望遠鏡を購入し、広く開放して一般の用に供されたことは科学普及の為めのみならず台湾文化の上にも感謝して感謝の余に堪へない次第である。この屈折望遠鏡は口径四吋の赤道儀式屈折望遠鏡にて時計仕掛によつて自動的に天体を追従して観測し、その設置せる台屋は直径五米四五糎を有して天空の如何なる部分にも容易に望遠鏡を向け得る本島唯一のものである。稀少価なりと雖もよく大衆教育の観測、月面の観察、欧亜及び支那の望遠鏡等にはその全能力が発揮せられることと思ふ。

△

この度台湾日日新報社が率先して望遠鏡を購入し、広く開放して一般の用に供されたことは科学普及の為めのみならず台湾文化の上にも感謝して感謝の余に堪へない次第である。この屈折望遠鏡は口径四吋の赤道儀式屈折望遠鏡にて時計仕掛によつて自動的に天体を追従して観測し、その設置せる台屋は直径五米四五糎を有して天空の如何なる部分にも容易に望遠鏡を向け得る本島唯一のものである。稀少価なりと雖もよく大衆教育の観測、月面の観察、欧亜及び支那の望遠鏡等にはその全能力が発揮せられることと思ふ。

△

斯様に地理的の好條件に恵まれた台湾にあける同好の士はこの機を十分に利用して天上の美観の観賞を味はせられると共に研究の為に奮励されることを切望する次第である。

十六インチの 巨砲が誕生するまで

米國海軍巖砲廠をのぞく（中）

昔の大砲は文字通り鋳造されたしかし現代の進歩した砲は鍛造である。現代の十六インチ砲は六層の鋼筒からなり、各層は別々に鍛造されて、最後に焼嵌めて一つに合せる。

鋼筒は、砲尾から砲口までの全長の約三分の二を占める。鋼筒の仕事はこの半製品の光沢をくる。

外側だらうと、内部だらうと、過程は同じことだ。疵もやはり正確に測られ、鏡のやうにピカピカ光つた滑りかなものとなるが、これが難物で考へてゐるところと違つてゐることが一つある。しかもそれが非常に重大なことである。

それは、砲身の内部のライフリングの溝である。ライフリングの溝は、砲弾に回転を与へて弾丸の飛行を安定ならしめるために、砲身の内部に螺旋状に刻まれた溝である。

この溝は、砲弾の大きさによつて、その数や深さが違ふ。

溝の数は、多いほど弾丸の回転が速くなるから、弾丸の飛行は安定するが、溝と溝との間の土手が薄くなつて、発射の際の圧力に耐へられなくなる。

溝の深さは、深いほど弾丸の回転が速くなるから、弾丸の飛行は安定するが、深すぎると、弾丸の底部の周囲を包む銅帯が溝に食ひ込む力が強くなつて、発射の際の圧力に耐へられなくなる。

溝の数と深さとは、砲弾の大きさによつて、最も適当な数と深さとが定められてゐ

南風の歌 (109)

加藤武雄作

富田千秋畫

（五月五日）

「そりやあ、君の勝手だ。勇んだ、なんて云ふのは君の邪推だ。あの人はね、ある理由から家出をしたのだ。既も、すぐあの人を探したい。だが、あの人は何処にゐるか、いくら探してもわからないのだ」

「或る理由から？　ふん、ちや幸ちやんの家出は、おれのせいぢやねえと、さうお前は云ふんだな」

「さうだ、既はあの人を愛してゐた。既の愛は――」

「おい！　酔つたれた口をきくなよ愛してゐたつて――。そんなら今の女を何なんだと云ふんだと」

「……」

「おい、降りて呉れ」

「降りろと云ふなら降りるが」

「降りて呉れ」

「既、本當に幸子さんが今どうしてゐるか知らないのか？」

「知られてもうすつかり破滅しちやつてゐるだらう。お前たちが寄つてたかつて、あの人を滅茶苦茶にしちまつたんだ」

「既の愛なんだ、あの人は」

野郎は既に酔切つてゐるにに云つたが、我ながら白々しい言葉に既はれた。

「既の愛なんだつて？　その既の毒な人に勝かつたんだ。降りて呉れ……う、ん、こんなものは要らねえ」

野郎が投げた一圓の五十錢紙幣が、既の膝に落ちた。

「要らないなんだ、あの人は」

既は相互秩序の生活から、あるゐは自然社會を組織し、且つその様式は時の社會意識に基いて政治的な力に依つて支配されてゐる。

故に時代文化に伴ふ時の社會人智が政治の上に齎らすのは當然であらう。されば政治の革新は、より進歩した政治に基づく社會意識の向上にほかならぬ。現世界の政治は、所謂大陸に四千億の重貨を費した如き事で、それその時代に於ける人智の發達を全體に清算した政治でなくて、不自然な國家の相互政策が生命の大道に反した混濁であり非人道的戰爭に因する社會教育から起つた結果の現はれである。云はば偶然な人間生活の秩序として厳存すること、またこれに從はねならぬ生活に幸を來すことを教育されてゐない現代人が、生命に關はる大秩序性を無視して生活の目的を誤り、生命の意義を忘れ、目的の為めに手段を選ばず、結果を以て過程を清算する為めと称して、國力を消滅する結果を來すのである。之れは眞理に反し國際的道義を蹂躙した結果である。

△

近くは北支を含む支那事變に見る。是れは國家的自覺性に缺けて、理想と相容れざる國際心理が武力行為として現はれたものであり、支那の自由が日本に與したとも見るべきであつて、茲に日本民族は國家本來の使命に覺醒する必要を感じ、國民は重要な覺醒期に直面したのである。併し日本が武力行為を行使した目的は歐洲大戰の時のそれと大に趣を異にし、國力の發展を目的とするのでなく、覺醒せる國民の生活要求を反省せしめ、國民の多數民を救済することを本意とすることそれである。而も更に日本としては、その一翼をなす大目的は東亞に八紘一宇の大精神に基いて人類の秩序を建設し天地の大道を人類に愛の事実に示すべく國體の發揚を中外に施し、生命に關はる大秩序性を無視して生活の目的を誤り、生命の意義を忘れ、目的の為めに手段を選ばず、結果を以て過程を清算する為めと称して、國力を消滅する結果を來すのである。之れは眞理に反し國際的道義を蹂躙した結果である。

△

人生に與へられた生命の大道徳性は、天地の使命に應じて、人類が生活の安定を得、更に向上へ發展する為の最大の方向であつて此の大人道精神の實現に依つてこそ、人生は初めてその安全なる進展が約束されるのであるから、吾人生命の目的を確立し、而も生活要素の發展を必要とするのである。而も現代社會教育を基礎するには、他に科学的知識の啓發を計るよりも、寧ろ人生の目的に從つて道徳教育の徹底化を計ることを以て基とするのである

△

國内的な理想を一層擴充して世界的に共通した道徳に基き、自然に理解する方法を用ひて、生活程度の万全を期し、それに從ふ物質の運用を誤らしめざる事が重要である。世界の生活が複雑して、それが戰爭の用に供せられるのは本來非理想の現象であつて、物質の生活は生命保護の為に用られ、更にその條件が人生の幸福増加する要素であらねばならない。国際間の關係を求め得ざるその間に道徳的な為さし得ない理非文明大惡事ではない。現世界の統治は例へば歐洲大陸に四千億の重貨を費した如き事で、それその時代に於ける人智の發達を全體に清算した政治でなくて、不自然な国家の相互政策が生命の大道に反した混濁であり非人道的戰爭に因する社會教育から起つた結果の現はれである。云はば偶然な人間生活の秩序として厳存すること、またこれに從はねならぬ生活に幸を來すことを教育されてゐない現代人が、生命に關はる大秩序性を無視して生活の目的を誤り、生命の意義を忘れ、目的の為めに手段を選ばず、結果を以て過程を清算する為めと称して、國力を消滅する結果を來すのである。之れは眞理に反し國際的道義を蹂躙した結果である。

△

命の目的を確立し、而も生活要素の發展を必要とするのである。而も現代社會教育を基礎するには、他に科学的知識の啓發を計るよりも、寧ろ人生の目的に從つて道徳教育の徹底化を計ることを以て基とするのである

△

現代世界意識の缺陷は、生命の大目的性に無自覺な事であつて、云はば現在は科学的文明に因れた文化であるから、生活要素の為めに人生が混從した形ちである。四はれたる小理想例へば、エゴヤ

興亞新秩序の眞理（上）

國際教化聯盟　竹村常次

人は本能想を求めて其の方向に進む作動であり、また道徳上に從たねばならぬ。現世界の如く戰爭が凡てに行悩みを生じた時は、更に之れを基礎する為新知識の啓發を必要とするのである。而も現代社會教育を基礎するには、他に科学的知識の啓發を計るよりも、寧ろ人生の目的に從つて道徳教育の徹底化を計ることを以て基とするのである

△

人生に與へられた生命の大道徳性は、天地の使命に應じて、人類が生活の安定を得、更に向上へ發展する為の最大の方向であつて此の大人道精神の實現に依つてこそ、人生は初めてその安全なる進展が約束されるのであるから、吾人生命の目的を確立し、而も生活要素の發展を必要とするのである。而も現代社會教育を基礎するには、他に科学的知識の啓發を計るよりも、寧ろ人生の目的に從つて道徳教育の徹底化を計ることを以て基とするのである

△

現代世界意識の缺陷は、生命の大目的性に無自覺な事であつて、云はば現在は科学的文明に因れた文化であるから、生活要素の為めに人生が混從した形ちである。四はれたる小理想例へば、エゴヤ

ラヂオ

朝
【七・〇〇】ラヂオ體操（第一）
【七・〇五】「朝の音樂」（レコード）吹奏樂・鼓笛隊行進曲・軍樂隊行進曲・劇士の入場（ラチック作曲）行進曲・劇士の別れ（ブランケンブルク作曲）管絃樂・維納ポニー・ムゼ管絃樂團、四重奏・ディナミデン（ヨーゼフ・シュトラウス作曲）
【七・三〇】國民歌謠（東京）日本と支那（第二講）新鮮征伐と邦人の發展（二）・本井照次郎
【八・〇〇】ニュース
【九・四五】家庭自由時間（臺北）幼兒のヨメレに御用りの方に
【一〇・〇〇】幼兒の時間（臺北）
【一〇・二〇】臨時ニュース
【一〇・二五】「夢の音樂」（レコード）吹奏樂・鼓笛隊行進曲・劇士の入場（ラチック作曲）行進曲・劇士の別れ（ブランケンブルク作曲）管絃樂・維納ポニー・ムゼ管絃樂團、四重奏・ディナミデン（ヨーゼフ・シュトラウス作曲）
【一一・〇〇】臨時ニュース
【一一・一五】正午の時報（東京）公示通告（陸軍）項
【一二・〇〇】農業時間（臺北）百姓の為の講座、農業紹介
【一二・一〇】臨時ニュース
【一二・一五】正午の時報（東京）早起きポーク最新・管絃樂大學教授
【九・〇〇】時報（東京）
【九・三五】九・四〇時報（東京）
【九・四〇】講演（臺北）早起きスポーツ最新・管絃樂大學教授
【一〇・二五】「夢の音樂」（レコード）吹奏樂・鼓笛隊行進曲・劇士の入場（ラチック作曲）行進曲・劇士の別れ（ブランケンブルク作曲）管絃樂・維納ポニー・ムゼ管絃樂團、四重奏・ディナミデン（ヨーゼフ・シュトラウス作曲）
【一一・〇〇】臨時ニュース
【一一・一五】正午の時報（東京）公示通告（陸軍）項
【一二・〇〇】時報（東京）
【一二・〇五】「放送局樂隊ニュース」（臺北）
【一二・一〇】臨時ニュース
【一二・一五】正午の時報（東京）公示通告（陸軍）項

乳幼兒の健康相談は
各醫院で無料で行ふ
健康增進勸獎のため

【台中電話】台中市では時局柄第二國民たる乳幼兒の健康增進を圖る目的で台中市內醫院の協力を求め愛月十五日午後二時より四時迄を無料で行ふ事に決定、第一回は五月十五日より開始される

けふの佳き日に選擧

【新竹電話】新竹州新竹、竹東兩街は五月子供の日に當り從來通り乳幼兒選擧會を擧行する筈となつたが、竹東街では同日午前十時半より竹東公會堂に於て新竹街では午後一時より新竹公會堂に於て夫々選擧會を擧行する筈

母へ感謝の會
けふ盛大に開催

【官廳電話】官廳街では五日個武の節句の佳き日に「母に對する感謝の會」を午後二時より官廳公會堂に於て擧行、可愛らしい幼稚園兒を始め小學校兒童多數參加して唱歌、童話劇及び舞踊を總出し名殘の出征軍人遺家族並に銃後のお母さん達に對し感謝を感安する事となつた

新竹市の優良兒
十名を選擧

【新竹電話】新竹市では本年度優良兒候補の選定檢查を去る四月二十二日社會館に於て行ひ滿一歲乃至滿二歲の嬰兒七十九名の中十八名の合格者を選定し更に二十七日に開催の「子供の日」の行事として午前十時より公會堂に於て擧行する筈

優良兒を選擧

【台中電話】台中市に於ける乳兒優良選擧會は四月七、十八兩日間實施した結果二百十名中より十名を優良兒、十名を準優良兒と決定五日午前十時半より市民館に於て選擧式を擧行する筈となつた

子供の日に育兒講演

【臺南電話】台中州南瀛街では「子供の日」の行事として五日午後一時三十分より公會堂に於て臨時總會を開催する筈

けふ選擧狀を授與

台中州埔里街では優良兒選擧の結果左記十名に對し五月五日午前九時埔里小學校講堂に於て感謝狀授與式を擧行する筈

優良兒　上田二五ノ一五ノ遊佐巡、田仝子二五ノ一五ノ運動員、新庄中林榮子さん　外十名
準優良兒　新埔仝醫員、外七名

ちや目坊の幼稚園
主婦連に大もて

【臺北電話】臺北州國民精神總動員會では本年度に二年生二學級を收容し都合一年生より三年生までの主婦を毎日午後二時より講習を開始してゐるが、お母さんについて來る子供らが賑しく騷ぐを二室に集め幼稚園をつくりの保育中のところ今年からちやめ坊の幼稚園になる爲め新名稱を公募中

經濟警察官の活動
狡猾な商人を摘發
暴利者へ容赦なく鐵槌

【臺北州電話】高雄州當局では時局柄經濟警察官の活動を强化し從來以下の物價統制と不正商人の檢擧に關し主任以下數名の活動人員を增員し更に二日頃、郵船巡

【臺北州電話】高雄州潮州飛地內埔庄長は管下の物價統制と不正商人の檢擧に關し主任以下數名の活動人員を增員し更に二日頃、郵船巡

查は高雄市の一質屋を行つた處、質屋に當局の意向を洩らして暴利を貪つてゐるとの情報に接し、商人を警察署に呼出し嚴重取調べた上、不當利得を返還せしめた

妊商又二人出づ

【臺南電話】昨年來北門一本部の保甲道路の完成を期して來たが、其の一部の保甲道路の完成を期して來たが、其の一部の保甲道路の完成を期して來たが、其の一

慰問袋には大學目薬を！

●慰問袋の大學目薬はなくてはならぬ衛生薬として戰地の兵隊さんに喜ばれてゐます

●それは支那や滿蒙がいわゆる黄塵万丈の土地柄、または南支など太陽の紫外線が強く　ために目を害することが甚だ少くないからです

●慰問袋にはお忘れなく大學目薬を入れて皇軍將士の目を護つて上げて下さい

顧問　醫學博士　河本軍次郎氏
醫學博士　小玉龍藏氏　推
眼科專門　醫學博士　吉田義治氏
醫學博士　山中崔之氏
醫學博士　豊田正達氏　一臺

誰でも毎日目を傷めてゐます

目は外部的刺戟（塵埃・細菌等）や體の内部的關係、季節的影響により毎日或程度目を傷めてゐるのです　従つて日常手當をする必要があります——が、特に

毎朝點眼は頗る効果的です！

之は單に目の疲勞や不潔を回復淨化するだけでなく更に強化する——大いなる効果を大學目薬は發揮します

紫外線による目の害も甚だ大です　大學目薬には紫外線防止藥（製法專賣特許ウルビオレギン）を配劑してありこの効果は登山家　航海者　軍工業員の方々に映畫人　舞合人　通り實に大學目薬獨特の光線を遮斷して居る事に依つて知られ用ひられて居ります。よく知られて効果であります。

太陽紫外線もこれから強くなる！

この頃目がのぼせはしませんか？

これから初夏にかけて、毎年、のぼせ目●は充血し　やり目等の結膜炎がグンと殖へます　これが前驅症狀です　たり　目やにが出たり　これがなくても　よしんばさういふ自覺症狀がなくても

器容型線遮

ぬれぼこにダムも演一　るせさつづ演一

適應症
粘膜炎　光線眼炎
角膜炎　トラホーム
麥粒腫　やに目
ほし目　打ち目
疲り目　はやり目
疲れ目　なみだ目
血　目　たゞれ目
雪　目　かすみ目

定價
ケースなし　小瓶　二十錢　中瓶　三十錢　徳用　五十錢　小口用　二十錢
ケース付　人造犀角　一圓　一瓶入　三十錢　一瓶入　五十錢　補充用特大　一圓　新付（ノ）
大學洗眼藥　十錢　十一錢　二十錢

大阪北濱　參天堂株式會社

流氷の黄河に飛込み 敵の渡船四隻を焼却

山西戦線の豪膽二勇士

【厚和三日發本社特電】敵軍與飛の中を敢然流氷と濁流の渾沌い中を黄河に身を投じて敵前渡河四百米を泳行敵陣を突破し奇襲的に敵前にて爆破を企図した二勇士があった

盧溝橋 しと云ふ勇士あるも、第六師団主戦場の華ゆる約二千は四月中旬黄河方にて黄河を渡河、陝西省より清水河、歸山の地帯に敵八路軍と交戦するに至つたが我が小田、河野（省）河野（省）、米山、黒木、山本各部隊はこれを撃破すべく西部山西の敵軍を包囲殲滅を開始し黄河左岸地区に大包囲陣を敷設し敵に多大の損害を與へて黄河方面に集結、黄河を渡河して背後に敵八路軍を急襲すべく敵情中なるを知つた我が米山部隊は二十九日朝黄河に到着した所敵は既に

渡河 を終え、小部隊なる後尾一隊に向ひ猛攻を加へ殲滅せんとの態勢に出でた、敵はさらじと渡河して背後に敵八路軍を急襲すべく敵情中なるを知つた我が米山部隊は二十九日朝黄河に到着した所敵は既に

渡河 を終え、小部隊なる後尾一隊に向ひ猛攻を加へ殲滅せんとの態勢に出でた、敵はさらじと渡河して背後に敵八路軍を急襲すべく

小休憩 第二軍司令官、岡部長景氏らの歓迎会前列左、伊藤次郎左衛門氏、今川義則氏、泊忠彦氏、古山俊英氏、淺井盛春氏、二宮義清氏

台湾総督府の台湾館開館式本年度議會終了後總督は四日午後七時より台北鉄道ホテルに於て開催

秋田縣下の罹災民に御内帑金を下賜

【東京四日發同盟】天皇陛下には去る一日の秋田縣下の豪雨に因り災害を蒙られた罹災同胞の御救恤金一封を同縣へ下賜の御沙汰あらせられた

總督府豫算の成立を祝ふ會

ゆうべ鐵道ホテルで盛大に

海内生総長、戸水寛人、小川郷太郎、山本条護宝事務局、石井健吾、市長、生田清総監部参謀長、西尾寿造兵監長、加藤泰安軍司令部参謀長、野口遵電源開発総裁、郷誠之助貴族院議員、倉知鉄吉前外相、本山彦一前貴族院議員、二荒芳徳北海道庁長官、岡部長景前台湾総督、松本蒸治前台湾総督、宇垣一成前朝鮮総督、中村豊一前台湾軍司令官、安藤紀三郎前台湾軍参謀長、泊忠彦前台湾軍参謀長、淺井盛春前台湾軍参謀長、二宮義清前台湾軍参謀長、中村孝太郎陸軍次官、鈴木貞一企画院総裁、小林躋造前朝鮮総督、大谷尊由前朝鮮軍司令官、柳川平助陸軍大臣、畑俊六陸軍次官、板垣征四郎陸軍省軍事課長、武藤章陸軍省軍務課長、岡村寧次陸軍省人事局長、富永恭次陸軍省人事課長、牟田口廉也陸軍省軍事課長、田中新一陸軍省軍務課長、辻政信陸軍省作戦課長、服部卓四郎陸軍省作戦課長、河辺虎四郎陸軍省軍務課長、堀場一雄陸軍省軍務課長、真崎甚三郎大将、荒木貞夫大将、小磯国昭大将、南次郎大将、杉山元大将、畑俊六大将、梅津美治郎大将、阿南惟幾大将、寺内寿一大将、本間雅晴中将、牟田口廉也中将、佐藤賢了中将、富永恭次中将、武藤章中将、河辺虎四郎中将、辻政信中将、服部卓四郎中将、堀場一雄中将

成年部 全試合抜より意氣（上） 蹴友クラブの優勝は順當

建功神社サッカー奉納大會成年部に參加したのは、鉄道、高校、高商、蹴友（一部）二部と合計五チームに上る、これに各校には不出場となつた大学、警察を加へると総計において七チームとなり、近來不振を囁かれてゐた北サッカー界は、その動員しうチーム数からいつて（ば全部の盛況を呈したいふべく、我々蹴球者は、それを心からの喜びとした。

ことに今年は日本蹴球協會創設者の一人、故内藤豊治氏の三回忌に當たる意味で、協會の目出たく誕生した第一年目であり、秋には國民体育大會への代表選手派遣を控へてゐることから秋に、この盛況を迎へたことは、すなはちサッカー人口の増加と發展とでも、決して徒らな言辞ではない、またこの際には絶らせたくないのである。ところで、かかる盛況をかけられた最初の大會が第一日より蹴球の雰囲気に包まれ、グランドは泥の海と化し、雨を衝いて水たまりを蹴散らしたといふ感の條件を無視なくされたのは、これ又已むなき次第である、このために技術と統制とを缺いたバスワークは、手のほどこし様もなく、唯ボールを追ふに終らせたくないのである。

日本陸上競技聯盟では一日午後六時から東日會議室で理事部長會議を開催、山本部會長、野口、吉原兩理事、服部競事以下各部長出席、今夏のドイツ遠征問題に關し協議を行つた結果、ドイツ遠征については參加の國際學生大會（ドイツ）遠征の申込れを受けてドイツ陸聯招聘による六名とさらに六名を增して十二名の代表

獨遠征陸上代表 十二名と決定

陸聯理事、部長會議で

日本陸上競技聯盟では一日午後六時から東日會議室で理事部長會議を開催、山本部會長、野口、吉原兩理事、服部競事以下各部長出席、今夏のドイツ遠征問題に關し協議を行つた結果、ドイツ遠征については參加の國際學生大會（ドイツ）遠征の申込れを受けてドイツ陸聯招聘による六名とさらに六名を增して十二名の代表を派遣することに決定、これが代表は二十日陸軍記念日に行はれる陸選會終了後發表の筈である。

なほ此の陸聯理事會では來る七日後藤部隊營庭で行はれる陸選會終了後發表の筈である。

後半の一点

一点も、許容線にもつこんだ球を醫薬にひらつた、鉄道との決勝は、鉄道がハーフタイムで退場してしまひ、あつけなく勝利は鉄道の手に帰したのが惜やまれても、サッカーの眞の試合とは云ひ得ない。

試合は

激烈通り蹴友クラブの優勝に終した、昨年甲子園大會に參加した一部のメンバーを中心にするこのチームは成年部に出場するやうになつても、堅固なる実力を發揮し續いのである、これといつて目立つプレーヤーは居ないのだが、全體として一点のそつもないチームの纏まりと、基本的な技術の完成、ことに出足の早さとヘッディングの巧妙さがこのチームの特長である、高校との試合では、F・Wの兩ウイングと、F・Eをハーフライン迄ひきだす程積極的なパスワークからの攻撃、殊に兩ウイングの突破を得て一氣に敵の陣地深く、F・Bを釣つて、ゴールを狙つた攻撃法は、この日の壓倒と高校パック陣の鼻をもつた正しい戰法と言へる、果実に、ありありとF・WとH・Bの協力によつて持ちこんだ球は高校のハーフ陣につぶされてしまひ、最初の一点はO・Lの伊藤がハーフ線切りでバックからの球球を得、それをあもつてこんで、F・Eの佐藤に大きくパスし、ゴールを狙つたのである

後半の

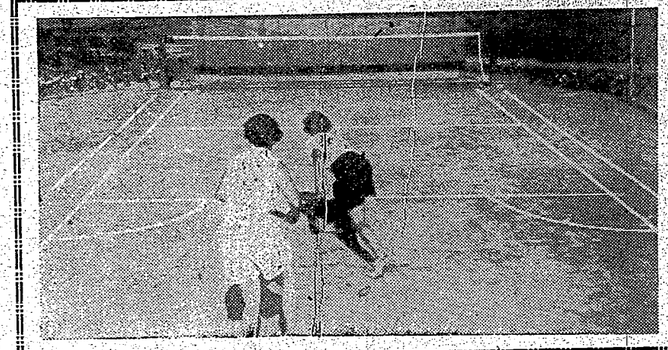
一点も、許容線にもつこんだ球を醫薬にひらつた、鉄道との決勝は、鉄道がハーフタイムで退場してしまひ、あつけなく勝利は鉄道の手に帰したのが惜やまれても、サッカーの眞の試合とは云ひ得ない。

試合は

激烈通り蹴友クラブの優勝に終した、昨年甲子園大會に參加した一部のメンバーを中心にするこのチームは成年部に出場するやうになつても、堅固なる実力を發揮し續いのである、これといつて目立つプレーヤーは居ないのだが、全體として一点のそつもないチームの纏まりと、基本的な技術の完成、ことに出足の早さとヘッディングの巧妙さがこのチームの特長である、高校との試合では、F・Wの兩ウイングと、F・Eをハーフライン迄ひきだす程積極的なパスワークからの攻撃、殊に兩ウイングの突破を得て一氣に敵の陣地深く、F・Bを釣つて、ゴールを狙つた攻撃法は、この日の壓倒と高校パック陣の鼻をもつた正しい戰法と言へる、果実に、ありありとF・WとH・Bの協力によつて持ちこんだ球は高校のハーフ陣につぶされてしまひ、最初の一点はO・Lの伊藤がハーフ線切りでバックからの球球を得、それをあもつてこんで、F・Eの佐藤に大きくパスし、ゴールを狙つたのである

新案テニス練習板

【ワイネスヴイル＝オハイオ州發同盟】米國テニス界のNO.1メリー・ブローヌ選手多年研究の結果、特殊な板を考案、狭い場所でよく練習が出來る方法を發表、テニス界の話題となつてゐる【寫眞は新案テニス板と考案者のブローヌ選手（右）】



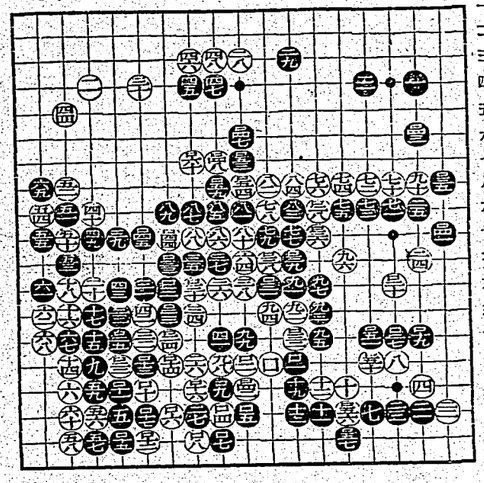
選抜圍碁リーグ戰（第四局）

（第九譜）

本社主催

稻澤克忠 二段 先番 龜井宮里

稻澤克忠 二段 互先 野伴喜四郎



○一五一　五〇ノ所勁トル
○二五八　五〇ノ所勁トル

（觀碁記）

黒四廿一の勁取に對し白四廿二、四廿四を凹むを得ない、四廿五を凹むと四廿六の勁取り廿七を取られ、四廿六の勁取に對し四廿七の勁取に對し四廿八の勁取に對し四廿九の勁取に對し四三を一七に凹むと四三を一七に凹むと四三を一七に凹むと